

平成22年度

「基礎・基本」定着度調査結果（概要）

（平成23年1月調査）

平成23年3月

鹿児島県教育委員会

平成22年度「基礎・基本」定着度調査について

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨・目的

基礎的・基本的な内容及びそれらを活用する力について、県内の全公立小・中学校を対象に調査を行い、客観的なデータに基づき定着度の状況を把握することにより、各学校等での指導法改善の取組を支援し、児童生徒の基礎学力の向上を図る。

(2) 調査の重点

昨年度に引き続き、選択式の設定問に加え、知識・技能の活用に関する記述式の設定問などを一定数出題した上で、昨年度と同様の難易度とし、目標平均通過率を70%に設定した。

(3) 調査の実施日

平成23年1月13日（木）、14日（金）

(4) 対象学年、対象教科

小学校第5学年（国語、社会、算数、理科）

中学校第1学年（国語、社会、数学、理科、英語）

中学校第2学年（国語、社会、数学、理科、英語）

2 結果の概要

- 全14調査中、目標平均通過率を達成したものが5調査、達成と同視できるものが1調査であり、昨年度における下記の傾向を含め、全体的な課題が継続している。
 - ・ 小学校段階の通過率は概ね安定・改善している一方、中学校段階では、明らかに定着が不十分な教科・学年が存在する。
 - ・ 小学校・中学校段階に共通して、基本的な知識・技能については比較的定着がみられるものの、それらを活用し思考・表現する力が身に付いていない。
- なお、本年度の特徴として、明らかに一定の改善のみられた教科と、みられなかった教科の差が顕著であり、特に算数・数学に関しては、指導体制の抜本的な点検を行う必要がある。

3 各教科の平均通過率等

		H22	H21
国 語	小5	70.0	73.3
	中1	73.1	72.4
	中2	67.8	73.7

- 「聞く」「読む」「言語事項」については、すべての学年で概ね定着しているが、中2の「書くこと」については、一部に改善のみられない箇所がある。
- 文章や図表・グラフを使って思考を整理し、自分の考えをまとめ、記述する力の定着を図る必要がある。

		H22	H21
社 会	小5	72.1	69.1
	中1	63.7	63.3
	中2	69.6	58.9

- 基礎的・基本的な知識については、すべての学年で概ね定着しているが、資料から必要な情報を読み取り、考えたことを表現する力の育成が課題である。
- 社会的事象の特色や事象間の関連等について、資料等を基に考えたことを表現する学習の充実を図る必要がある。

		H22	H21
算 数	小5	62.7	66.0
	中1	64.9	69.7
	中2	64.3	63.2

- 全学年を通し、通過率の低い問題の改善が図られておらず、確実に定着するまで繰り返しの指導を徹底する必要がある。
- 式、図、表、グラフ等の読み取りから、自分の考えや解決方法を筋道を立てて説明するなどの数学的な思考力・表現力に関する指導内容の見直しを行う必要がある。

		H22	H21
理 科	小5	70.6	73.6
	中1	65.7	57.0
	中2	59.8	59.5

- 観察・実験などの直接体験を重視し、学習内容と生活の中の事象とを関連付け、実感を伴った理解を図る必要がある。
- 「わかっていること」と「わからないこと」を整理し、筋道を立てて調べ、結論付けるといった思考の過程を重視した、科学的な問題解決力の育成が課題である。

		H22	H21
英 語	小5	-	-
	中1	73.9	70.0
	中2	66.6	62.5

- 「聞くこと」及び「読むこと」の領域において、概要・要点を把握する力は概ね定着している。
- 場面に応じて適切な表現を用いたり、まとまりのある文章を書いたりする力が不足している。音声による表現の練習を行った上で、文字による正確な表現の定着を図る必要がある。

4 調査結果の活用（今後の対応）

今後、本調査の更に詳細な分析を行い、その結果を教職員研修等において集中的に活用することなどにより、県下全体での課題認識の共有と必要な対応の推進に、着実に取り組む。

また、特に算数・数学を中心に、昨年度からの課題に対する改善がみられない事態を踏まえ、本県独自教材「鹿児島ベーシック」（中学校用）の緊急改訂を行い、各学校における学力向上への取組を積極的に支援する。

目 次

○ 結果概要	
○ 本調査結果による指導法改善について	1
○ 平成22年度「基礎・基本」定着度調査結果（概要）の見方	2
I 調査の概要	3
II 各教科の結果	
1 各教科の平均通過率	4
2 各教科の内容・領域及び観点別の平均通過率	
(1) 国語	5
(2) 社会	11
(3) 算数・数学	13
(4) 理科	17
(5) 英語	21
3 各設問の分類と平均通過率	
(1) 国語	24
(2) 社会	27
(3) 算数・数学	30
(4) 理科	33
(5) 英語	36
4 各受検者の正答数の分布	
一覧表	38
(1) 国語	39
(2) 社会	40
(3) 算数・数学	41
(4) 理科	42
(5) 英語	43
5 地区別の平均通過率	44

本調査結果による指導法改善について

「基礎・基本」定着度調査は、児童生徒の基礎・基本の定着のため、客観的なデータに基づく定着度の把握及び指導法改善をねらいとしています。

各学校では、調査直後から、自校の結果を踏まえた補充指導や次年度の指導計画の見直し等の取組が行われていると思います。

さらに、調査票の問題や本資料を活用し、指導法改善を進めてください。

○ 調査票

本調査で出題した問題は、児童生徒が身に付けてほしいと考える学力について、具体的に示したものです。

各学校においては、今回の調査票の問題を授業の終末や単元末の評価場面などで活用し、定着度の把握や個別指導に役立ててください。

○ 特に定着を図りたい問題

本調査結果を受け、学力の中心的内容、領域を取り上げました。これまでの調査において、定着度が高まってきている傾向がある一方で、現状が変わらないものも見られます。

特に、改善が急務である問題を精選して、改善策を提案していますので、これらを参考にして、確実な定着を図るように努めてください。

○ 各設問ごとの通過率

今回の調査結果で、特に通過率が50%未満だった問題について明示しています。各学校の実態と比較して、通過率の低かった内容を確認してください。

また、その内容については、指導計画等を重点化することにより、授業の指導法改善を図るとともに、演習や個別指導などの補充指導を充実させることが大切です。

○ 鹿児島ベーシック、鹿児島チャレンジ

鹿児島県教育委員会では、過去の調査のデータを踏まえ、学校や家庭の学習を支援する学習ガイド「鹿児島ベーシック」（中学校1，2年生用）「鹿児島チャレンジ」（小学校5，6年生）を作成し、県教育委員会のウェブページに掲載しています。

これらの問題を授業で活用したり、解説を指導法改善の参考にしたりしてください。なお、平成23年度も引き続き、調査結果を踏まえ「鹿児島ベーシック」「鹿児島チャレンジ」の改訂版を作成する予定です。

「基礎・基本」定着度調査結果（概要）の見方

本書は、鹿児島県教育委員会が各市町村教育委員会及び各小・中学校の協力を得て、平成23年1月に実施した平成22年度「基礎・基本」定着度調査の結果概要です。

1 本書の構成について

本書は、次のような構成になっています。

- I 調査の概要
- II 各教科の結果概要
 - 1 各教科の平均通過率（県全体）
 - 2 各教科の内容・領域別及び観点別の平均通過率（県全体）
 - 3 各設問の分類と平均通過率
 - 4 各受検者の正答数の分布
 - 5 地区別の平均通過率

2 本書の活用について

- 調査の目的や実施の概要を知りたい場合 「I 調査の概要」 …P 3
- 各教科の定着状況の概要を知りたい場合 「II 各教科の結果概要…P 4
(1 各教科の平均通過率)」
- 各教科の定着状況を内容・領域別及び観点別に詳しく知りたい場合 「II 各教科の結果概要…P 5～23
(2 各教科の内容・領域別，観点別の平均通過率)
(5 地区別の平均通過率)」
- 各教科の設問毎の分類と平均通過率を知りたい場合 「II 各教科の結果概要…P 24～37
(3 各設問の分類と平均通過率)」
- 各受検者の正答数分布を知りたい場合 「II 各教科の結果概要…P 38～43
(4 各受検者の正答数の分布)」

3 本書に使われている用語について

○ 「通過率」

各設問ごとに正答した児童生徒の数を、調査実施児童生徒数で除したものを「通過率」とし、分類上、その平均をとったものを「平均通過率」としています。

I 調査の概要

1 趣旨・目的

学習指導要領において身に付けることが求められている基礎的・基本的な内容及びそれらを活用する力について、全県的な調査を行い、客観的なデータに基づき定着度の状況を把握することにより、各学校等での指導法改善の取組を支援し、児童生徒の基礎学力の向上を図る。

2 調査の対象学年、学級等

- (1) 県内すべての小学校5年，中学校1，2年の全学級の児童生徒を調査対象とする。ただし，複式学級を有する学校においては，履修していない内容を調査から除外して実施する。なお，小・中学校における特別支援学級の児童生徒については，該当学年の学習内容を履修していない教科・内容を調査から除外して実施する。
- (2) 特別支援学校においては，該当学年の学習内容を履修している児童生徒を調査対象とする。

学校種	学年	実施校	調査児童生徒数
小学校(小学部)	5年	563校	15,124人
中学校(中学部)	1年	247校	14,946人
	2年	248校	15,066人

* 調査対象学年に在籍者がいない学校は除く。

* 調査人数は，欠席等により各教科，設問によって異なる。(上記は最大値を示す。)

3 調査の内容

学力調査

ペーパーテストにより，調査対象教科の基礎学力の定着状況（当該学年の12月終了程度までを範囲とする）について調査する。調査対象教科は，以下のとおりである。

【小学校(小学部)】 第5学年 …… 国語，社会，算数，理科

【中学校(中学部)】 第1，2学年 …… 国語，社会，数学，理科，英語

4 調査の実施時間

学力調査

小学校(小学部) 45分(調査票の配布・説明等5分，調査時間40分)

中学校(中学部) 50分(調査票の配布・説明等5分，調査時間45分)

5 調査の実施日

平成23年1月13日(木)・14日(金)

6 調査の採点及び結果の集計・分析

- (1) 各学校は，自校の児童生徒の調査について採点・集計を行い，当該市町村教育委員会へ報告する。自校の調査結果については，保護者に対して説明責任を果たすとともに，今後の指導方法改善に生かす。
- (2) 各市町村教育委員会は，管下の学校の調査結果を集計し，県教育委員会へ報告する。自市町村の調査結果については，自市町村の基礎学力の定着への取組に生かす。
- (3) 県教育委員会は，調査結果を集計・分析し，県全体の「基礎・基本」の定着状況について公表するとともに，指導方法の工夫改善の参考となる資料を作成し，各学校に配布することにより，各学校の基礎学力定着への取組を支援する。

II 各教科の結果概要

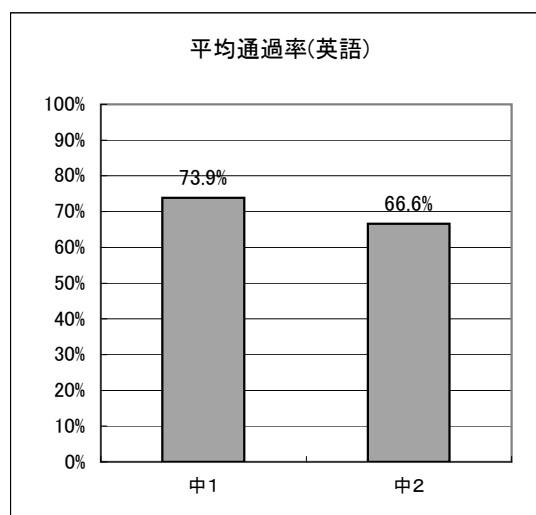
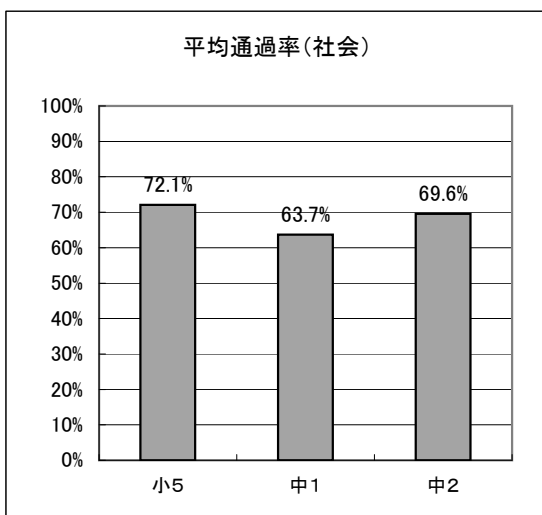
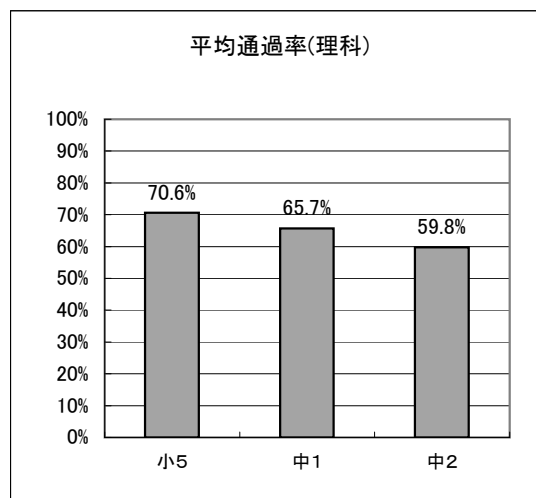
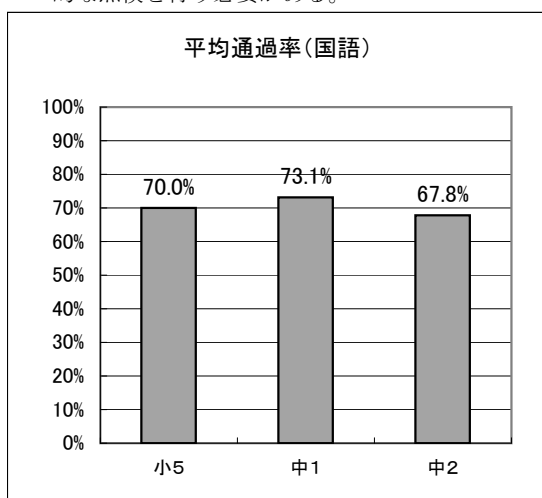
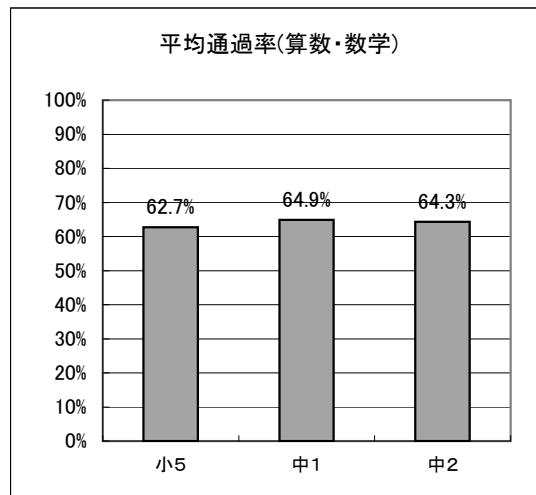
1 各教科の平均通過率(県全体)

ここでは、各教科ごとに調査実施学年の平均通過率を示しており、本県の「基礎・基本」の定着状況の概要を、教科・学年ごとに見ることができる。

(1) 全14調査中、目標平均通過率を達成したものが5調査、達成と同視できるものが1調査であり、昨年度における下記の傾向を含め、全体的な課題が継続している。

- ・ 小学校段階の通過率は概ね安定・改善している一方、中学校段階では、明らかに定着が不十分な教科・学年が存在する。
- ・ 小学校・中学校段階に共通して、基本的な知識・技能については比較的定着がみられるものの、それらを活用し思考・表現する力が身に付いていない。

(2) 本年度の特徴として、明らかに一定の改善のみられた教科と、みられなかった教科の差が顕著であり、特に算数・数学に関しては、指導体制の抜本的な点検を行う必要がある。



2 各教科の内容・領域及び観点別の平均通過率(県全体)

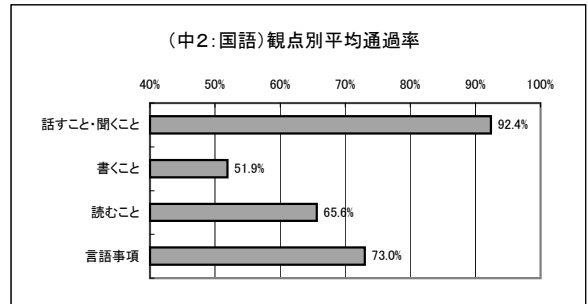
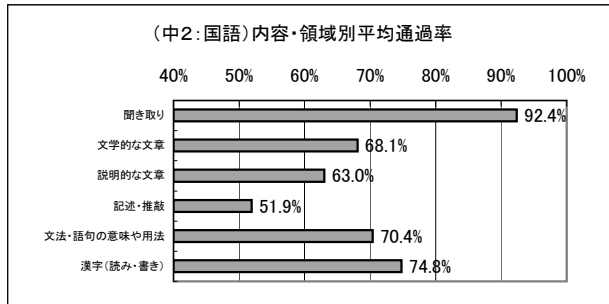
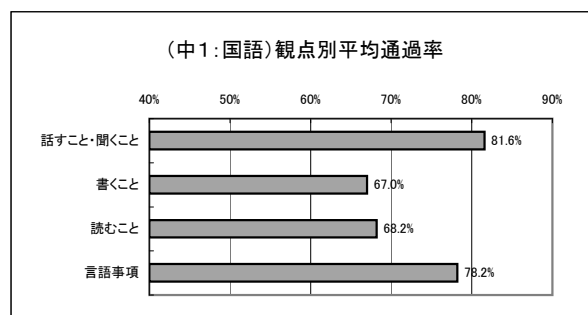
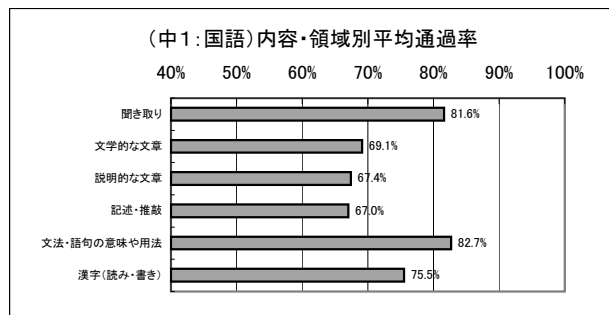
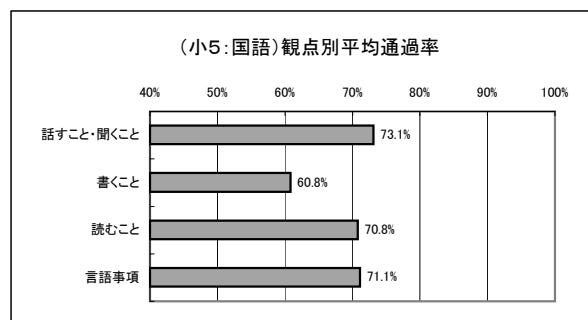
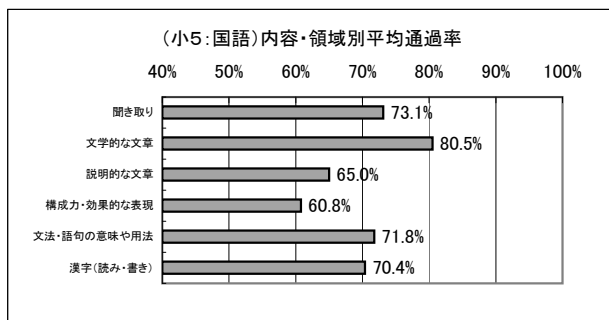
(1) 【国語】

学年別平均通過率

小5 70.0%

中1 73.1%

中2 67.8%



小学校5年

- 全体の平均通過率は70.0%であり、概ね基礎・基本の定着は図られているが、観点「書くこと」及び「構成的・効果的な表現」がともに60.8%にとどまり、昨年同様課題を残す結果となった。
- 4年連続出題した漢字の書き取り問題について、顕著な改善がみられなかった。
※ 絵にかんしんをもつ。(H20 48.6% → H21 47.7% → H22 51.3%)
- 子どもたちの話し合いから、グラフから読み取った情報と自分の考えを記述する問題に課題がある。

中学校1年

- 全体の平均通過率は73.1%であり、概ね基礎・基本の定着は図られているが、「説明的文章」の読解の領域が50.3%から67.4%に上昇しており、改善されつつあるととらえている。
- 順序を表すことばを使って、わかりやすい道案内の記述をする類似問題が、昨年の62.1%に対して60.9%と改善がみられなかった。地図を参考に、目印となる建物を示しながら「まず」「はじめに」や「次に」等、説明や報告に必要な言葉の使い方の指導が必要である。

中学校2年

- 全体の平均通過率は67.8%であり、概ね基礎・基本の定着は図られているが、観点「書くこと」及び「記述・推敲」がともに51.8%にとどまり、課題を残す結果になっている。
- 昨年度、中学校1年で出題した同一の漢字及び文法の類似問題については、依然十分な改善がみられず、課題である。(昨年書けなかった漢字が1年後も依然として書けない状況)
※ おとし玉をちょきんする。(H21 54.3%→H21 58.1%)
- 報告文の内容(グラフや文)から必要な情報を引用して、自分の意見や考えを記述する力に課題がある。

【特に定着を図りたい問題 <小5国語>】

7 - 1・2 国語の時間の話し合い活動において、司会者の指示に対する発言内容をとらえるとともに、資料（グラフ）からわかるペットボトルの問題点をまとめ、記述する問題

問1 司会者の「①資料②のグラフから、分かることを発表してください。」の指示に対して、正しく答えていない人を、____の中から一人選び、また、その理由を書きましょう。

問2 小川さんが資料②を使って、伝えようとしている「②ペットボトルにも、問題点はあるわよ。」とは、どういうことですか。次の条件にしたがって書きましょう。

- (1) 発言者 通過率 84.7% / 無解答率 2.4%
理由 通過率 60.9% / 無解答率 3.5%
(2) 通過率 51.8% / 無解答率 8.4%

※ 【資料①】 ペットボトルの生産量と回収量

項目	量 (万トン)
生産量	57.3
回収量	39.6

(平成19年度環境省)

※ 回収量よりも生産量が多い。

※ 【資料②】 ペットボトルとリターナブルびんの使用本数

年	リターナブルびん (億本)	ペットボトル (億本)
1991	69	21
1993	61	24
1995	56	29
1997	48	42

※ リターナブルびんは、あまりと、くり返し使うことのできるびん

司会 ①資料①のグラフから、分かることを発表してください。

大木 リターナブルびんの本数は、年々へってきているね。

丸山 びんは重いから、ペットボトルのほうが使いやすいな。

竹中 ペットボトルの本数はどんどん増えているわ。

小川 一九九五年から一九九七年までのペットボトルの増え方が大きいわ。

小川 このグラフ(資料①)を見て。

丸山 それにペットボトルは、びんより軽いから、持ち運びするときに便利だからね。

大木 びんは割れるけど、ペットボトルは、割れないよ。だから、取りあつかいやすいからではないかな。

司会 なぜ、ペットボトルがだんだん多く使われるようになったのでしょうか。思ったことや考えたことを発表してください。

○ 問1は、話し合い活動の様子から、一人一人の発言の内容と意図を的確にとらえ、司会者の指示に対する発言内容が適切であるかどうかを判断し、その理由を記述する能力をみる設問である。

「話すこと・聞くこと」において、今後一層重視していきたい指導事項であり、「進行に沿って話し合う能力」との関連が深い。

○ 問2は、小川さんの発言の意図を明確にして、提示されたグラフからわかる、ペットボトルの問題点について、条件にしたがい、その内容を記述する能力をみる設問である。

【条件】 ① 第1文には、資料①から分かることを書きましょう。
② 第2文には、資料②から考えられる問題点を書きましょう。

※ 小学校3・4年の「書くこと」の指導事項のウ

「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じ理由や事例を挙げて記述できる能力」

※ 小学校5・6年の「書くこと」の指導事項のエ

「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書く能力」まで高めていきたい。

○ 司会者を立てた「話し合い」活動の場面で、具体的な指導をする。

小学校学習指導要領解説国語編P.78「話し合うことに関する指導事項」

○ 「書くこと」の「記述」に関する指導事項の系統を踏まえて指導する。

鹿児島チャレンジP.2～3, 34に取り組みせる。

小学校学習指導要領解説国語編P.58～59「ウ・エ 記述に関する指導事項」

小学校学習指導要領解説国語編P.82～83「ウ・エ 記述に関する指導事項」

【特に定着を図りたい問題 <中1国語>】

5 野球部の顧問の先生から部員への伝言を頼まれたときのメモから、連絡する内容をまとめ、遅れてやってくる部員に駅から試合会場までの道案内の説明を記述する問題

〔部員全員に伝える内容の原稿〕

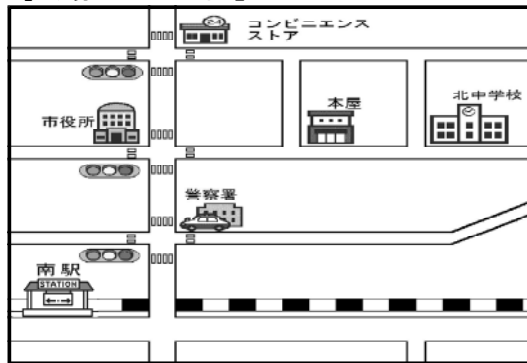
野球部からの連絡です。 I 会場は北中学校です。午前九時に会場に着くために、8時30分までに南駅に集合してください。 II

- 問1 原稿にある I には、野球部全員にまず初めに伝えなければならない内容が入る。メモを参考にしてその内容を考え、一文で書け。
 問2 健一君は、メモを見ながら、最後に伝えるべき内容がもう1つあることに気が付いた。原稿の II に入る内容について、メモを参考にして考え、一文で書け。
 問3 健一君は連絡を聞いた部員から、「練習試合に遅れるので、試合会場に直接行きたい。南駅から北中学校までの道を教えてほしい。」と言われた。南駅から北中学校までの道案内の説明を、次の条件にしたがって書け。

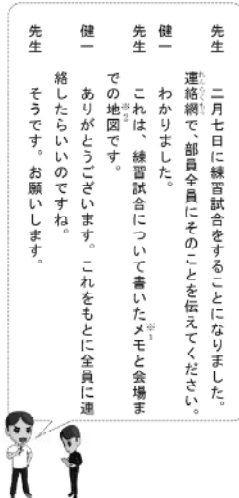
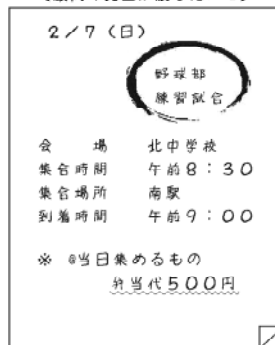
- 〔条件〕
- ① 目印になる建物等を示し、最短距離の道を説明すること。
 - ② 順序を表す言葉（「まず」、「はじめに」等）を使って、2文以上で書くこと。
 - ③ 原稿用紙の使い方にしたがって、4行以上、6行以内で書くこと。

- (1) 通過率 79.4% / 無解答率 2.1%
 (2) 通過率 76.5% / 無解答率 2.7%
 (3) 通過率 59.6% / 無解答率 5.1%

【会場までの地図】



*1(顧問の先生が渡したメモ)



5 次は、野球部の顧問の先生が部員の健一君と交わした会話の記録と、そのときに先生が健一君に渡したメモです。下にあるのは、駅から会場までの地図です。これらの資料を見て、あとの問いに答えなさい。

- 問1と問2は、野球部顧問の先生が渡した伝言メモをもとに、連絡網の原稿を完成させることにより、メモの中にある情報を整理しながら、伝えたい事実を明確にし、段落の役割を考えて文章を構成する能力をみる設問である。概ね目標を達成している。
- 問3は、地図を参考にして、遅れてくる野球部員に駅から試合会場までのわかりやすい道案内の内容を記述する問題を通して、図・表（ここでは地図）を用いてわかりやすい説明の文章を記述する能力をみる設問である。通過率は59.6%である。（昨年は類似問題で62.1%）
 地図を使って説明（記述）する力の定着をみる問題を2年連続で出題したが、例示されている言語活動を参考にしながら、今後一層の指導の充実を図ってほしい。

中学校1年「書くこと」の言語活動例→「図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。」
 (指導のポイント)

- ・ わかりやすい道案内（説明）をするためには、地図の中から目印となる必要な要素（建物等）を取り出す。
- ・ 「まず」や「はじめに」で書き始め、「次に」「それから」等の接続語の使用を工夫する。
- ・ 必要な要素を順番につないで説明する言語技能（話す・書く）を、具体的な言語活動の場面を設けて指導する。
- 中学校学習指導要領解説国語編 P33 「ウ 記述に関する指導事項」
 〃 P34 「中1 B書くこと ②言語活動例 イ」
 「イ 図・表などを用いた説明や記録の文章を書くこと」
 鹿児島ベーシック中1 平成22年度追加改訂② 類題参照

【特に定着を図りたい問題 <中2国語>】

5-1・3・4 中学生が国語の時間に書いた報告文の「考察・まとめ」の部分について、報告の内容を参考にして自分の考えを記述する問題

報告文

【報告文】

テーマ「携帯電話を使ったコミュニケーション」

1 はじめに（動機・目的）
携帯電話についての特集が、先日テレビで放送されていた。その中で、中学生・高校生の携帯電話によるコミュニケーションが話題になっていた。その内容に興味をもったわたしは、携帯電話について調べることにした。そして、調査の結果をもとに、携帯電話の使い方について自分の考えを伝えたいと思いました。

2 調査方法
(1) インターネットで調べる。
(2) 学級でインタビューをする。

3 調査結果（分かった事実）

インターネットで調べた結果

グラフ1

携帯電話所有とトラブル経験等

学年	携帯電話所有率	フィルタリング利用率	トラブル経験
小学生	約20%	約60%	約10%
中学生	約40%	約50%	約20%
高校生	約90%	約30%	約40%

グラフ2

一日の携帯電話の利用状況

学年	1日通話時間10分未満の割合	平均メール回数(10件~50件)割合
小学生	約80%	約20%
中学生	約70%	約30%
高校生	約50%	約50%

【グラフ1】からわかること

- 中学生の4割以上、高校生の9割以上が、携帯電話を持っている。
- 携帯電話保有者の約60%が、1日に2時間以上利用している。
- 携帯電話を持っている中学生の20%以上が、トラブルの経験がある。
- 「フィルタリング利用率」の割合は、小学生、中学生、高校生の順に減っている。

【グラフ2】からわかること

- 中学生・高校生の平均メール回数(10件~50件)の割合は、(A)ということがわかる。
- 携帯電話での1日の通話時間は、小・中・高校生ともに、約80%が10分未満であるということがわかる。

インタビューの結果

- いつでもどこでもコミュニケーションができる。
- 絵文字や顔文字を使うと、相手の気持を伝えやすい。
- 携帯電話では、相手の表情などがわからないので誤解を生むことがある。
- メールは便利だが、すぐに返信しないといけないので気がつく。

4 考察・まとめ（自分の意見）
今回「携帯電話を使ったコミュニケーション」というテーマで調査をした。

まとめ

- (1) 通過率 37.3% / 無解答率 2.4%
 (2) 通過率 83.0% / 無解答率 8.4%
 (3) 通過率 49.8% / 無解答率 2.4%
 (4) 通過率 47.0% / 無解答率 8.4%

例 30% 2割 10分間

※ 数値を引用したい場合は、次の例にならって書くこと。

(5) ⑩の原稿用紙の使い方にしたがって、百六十字以内で書くこと。

(4)(3) ⑩の中から必要な語句や文を適切に引用して書くこと。

(2)(1) 第二段落に、「携帯電話を使ったコミュニケーション」について、立場を明確にして、自分の意見や考えを書くこと。

四 「4 考察・まとめ」の「4 考察・まとめ」の部分に、報告文のテーマ「携帯電話を使ったコミュニケーション」に対し、あなたただ一人の調査結果からどのような意見を書きますか。次の条件にしたがって書け。

第二段落で構成すること。

第一段落に、「携帯電話を使ったコミュニケーション」について、立場を明確にして、自分の意見や考えを書くこと。

第二段落に、自分の意見や考えの根拠を書くこと。

根拠を書くときには、報告文の「調査結果」の①、②の中から必要な語句や文を適切に引用して書くこと。

原稿用紙の使い方にしたがって、百六十字以上、百六十字以内で書くこと。

- 問1は、文体（常体と敬体）を統一する基本的な設問であるが、通過率が 37.3 %と低い。小学校3・4年「書くこと」の推敲に関する指導事項の定着が不十分である。
- 問3は、グラフ2からわかることを読み取り、記述する設問であるが、通過率が 49.8 %と低い。グラフの示す内容を理解し、伝えたい事実や事柄（グラフからわかったこと）を明確にして記述する能力の定着が不十分である。
- 問4は「携帯電話を使ったコミュニケーション」に関する報告文を読んで、条件にしたがって「4 考察・まとめ」の部分に記述させた。通過率が 47.0 %と低い。

これは、自分の立場を明確にして文章の構成を工夫する能力や、事実や意見が相手に効果的に伝わるように、根拠となる事実を取り上げ（引用し）て、自分の考えを記述する能力をみる設問である。

観点別にみると、第2段落に「報告文中の内容の一部を引用して」根拠を書く（記述する）問題の通過率が特に低い。(47.0%)

自分の立場を明確にして、それを支える必要な情報を根拠として引用し、意見を記述する力の定着を図る指導を充実する必要がある。その際に、小学校の指導事項との関連を図り、目的や意図に応じて、伝えるべき事柄を明確に書くことを強く意識して指導する。

【小学校学習指導要領国語 小学校5・6年B「書くこと」の指導事項エ】

「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと」

・・・「引用」して書くと、自分の考えを根拠付けたり、具体的な例を示したりする際に、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して、自分の表現に取り入れること。

- 中学校学習指導要領解説国語編 P 51「イ 構成 ウ 記述に関する指導事項」

〃 P 53「中2 B書くこと ②言語活動例 イ」

「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動」

鹿児島ベーシック中2 平成22年度追加改訂② 類題参照

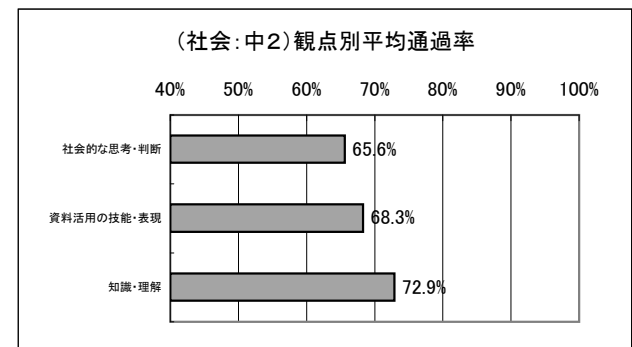
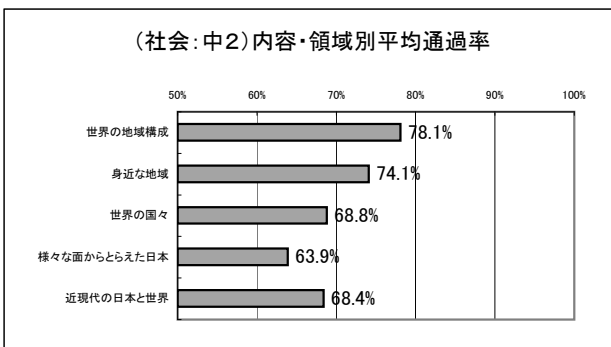
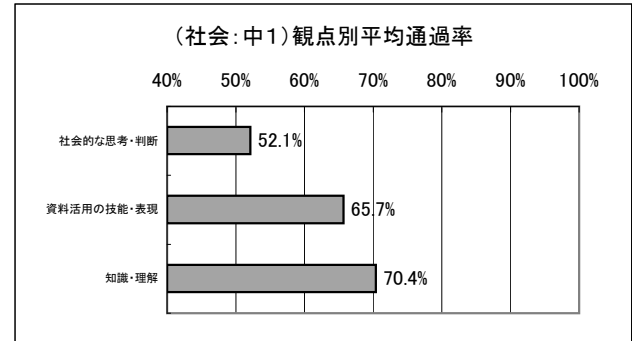
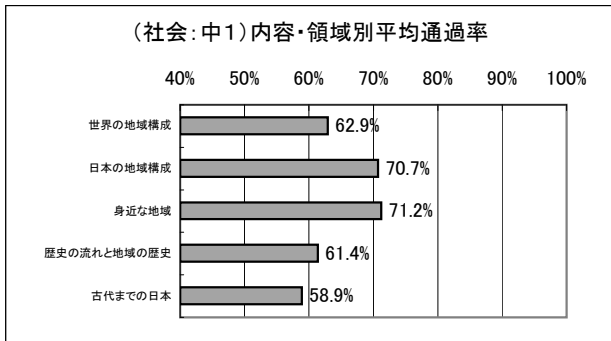
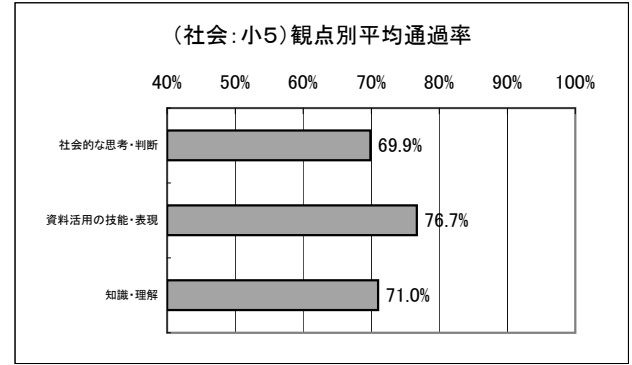
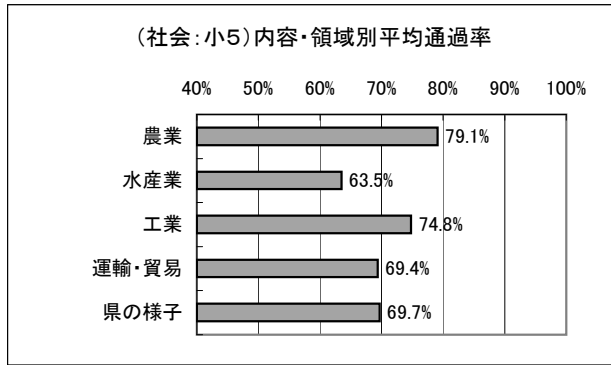
(2) 【社会】

学年別平均通過率

小5 72.1%

中1 63.7%

中2 69.6%



小学校5年

- 内容・領域別では「水産業」、観点別では「社会的な思考・判断」以外は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。
- 「水産業」では、資料中の「年間水揚げ量」について記述する問題（同 39.8%）等、「社会的な思考・判断」では、資料を基に、食料を輸入にたよりすぎた場合におこる問題について文章で記述する問題（同 49.5%）等に課題がみられた。



中学校1年

- 内容・領域別では「世界の地域構成」「歴史の流れと地域の歴史」「古代までの日本」、観点別では「社会的な思考・判断」「資料活用の技能・表現」以外は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。
- 「古代までの日本」では平安京遷都の頃の時代の様子に関する問題（同 19.1%）等、「社会的な思考・判断」では、各時代の特色を順に並べる問題（同 34.9%）、「資料活用の技能・表現」では、墾田永年私財法が定められた理由に関する問題（同 47.5%）等に課題がみられた。

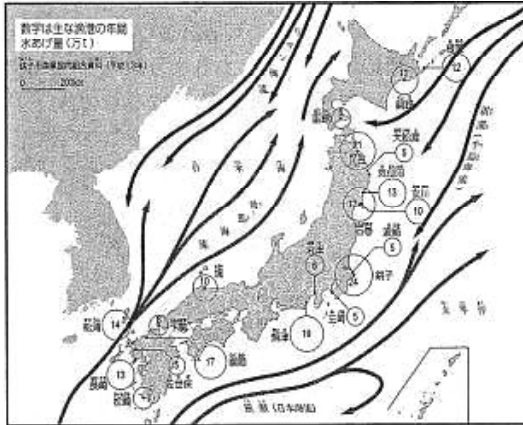
中学校2年

- 内容・領域別では「様々な面からとらえた日本」、観点別では「社会的な思考・判断」以外は、通過率が70%程度であり、概ね定着しているといえる。
- 「様々な面からとらえた日本」では、台風によって発生する災害に関する問題（同 42.4%）等、「社会的な思考・判断」では、廃藩置県に関する問題（同 58.8%）等に課題がみられた。


【 特に定着を図りたい問題 <小5 社会> 】

- 6 (3) 資料2では、のように、各地の漁港ごとに数字が書かれています。鹿児島県の枕崎港に示されている「7」は、何をあらわしていますか。の中に書きましょう。

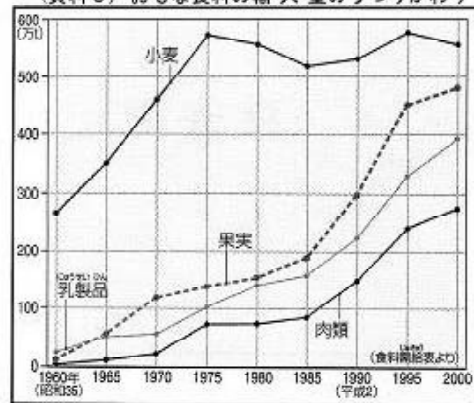
〈資料2〉日本のおもな漁港と水あげ量



通過率 39.8% / 無解答率 4.4%

- 10 (3) 資料3が示すように、年々食料の輸入量が増えているのが分かります。食料を輸入にたよりすぎると、どのような問題がおこると考えられますか。の中に書きましょう。

資料3 おもな食料の輸入量のうつりかわり



通過率 49.5% / 無解答率 6.2%

- 6の(3)は、資料「日本のおもな漁港と水あげ量」の枕崎港に示されている数字は何を表すか、記述する問題である。資料の読み取りに関する基礎的・基本的な技能に関する出題であったが、通過率が一番低かった。

授業においては、各種の資料を効果的に活用し、社会的事象について、より広い視野から考え、表現する力を育成することが重要である。そのためにも、資料から必要な情報を読み取らせる等の基礎的・基本的な技能の習得を図る必要がある。

具体的には、例えば、この資料の、タイトルや出典名、統計年や単位等の「資料のどこをどのようにみればよいか」など、児童に資料を読み取る視点をもたせることである。その上で、資料から必要な情報を読み取らせる指導を繰り返し行っていく必要がある。

- 10の(3)は、平成21年度にも出題したが、通過率(35.4%)が低かったことから、改訂して出題した。昨年度と比較すると改善が図られているが、依然として通過率が低いことから、さらに指導を行っていく必要がある。

食料の輸入量が増加すると、国内の生産力の低下につながる。また、環境に与える影響や安全性の問題等も考えられる。

具体的には、授業において、例えば、食料の輸入量が増加することによって起こる課題を、資料を基に考えさせたり、発表させたりして、課題についての因果関係等、事象間の関連について理解を深めさせる必要がある。

【特に定着を図りたい問題 <中1社会>】

5

【カードA】

藤原氏は、自分の娘を天皇のきさきにし、その子を天皇に立て、政治の実権を握った。10世紀半ばすぎには、天皇が幼いときは摂政、成人した後は関白として、政治を行うようになった。

【カードB】

貴族や僧の間で、勢力争いが激しくなった。乱れた政治を立て直すために、桓武天皇は長安にならって、平安京をつくった。

【カードC】

班田取授法によつて、6歳以上の男女に口分田が与えられた。しかし、聖武天皇の時代になると、税が重いため、口分田を捨てて、ほかの土地に移る農民も現れた。

(2) カードBの時代の様子について述べた文として、最も適当なものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 天皇を中心とする政治制度を整えるため、十七条の憲法や冠位十二階の制度(法)を定めた。
- イ 唐の律令にならい、大宝律令がつくられ、全国を支配するしくみが、細かく定められた。
- ウ 唐は対立する高句麗を攻撃し、そのため朝鮮半島の国々では、緊張が高まった。
- エ 朝廷は東北地方の蝦夷に対して、たびたび大軍を送り、勢力を広げた。

(5) カードA～Cを時代順に並べたものとして正しいものを、下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア A→C→B イ C→B→A ウ C→A→B エ B→A→C

(2) 通過率 19.1% / 無解答率 0.5%

(5) 通過率 34.9% / 無解答率 0.4%

○ (2)は、平安京遷都を行った桓武天皇の政治についての問題である。平安京遷都については、小学校での既習内容でもあり過去にもよく出題されている。そのため今回は、平安京遷都の頃の政治の様子について出題したが、通過率が一番低かった。

ここでは、桓武天皇が行った政治等、平安時代初期の特色について、時代の大きな流れの中でとらえさせることが重要である。

具体的には、例えば、桓武天皇はどのような政治を行ったのか、平安京遷都の目的など、資料等を基に具体的に調べさせ、その特色や意味について考えさせ、自分の言葉で表現させるなどの工夫を行い、理解を深めさせる必要がある。

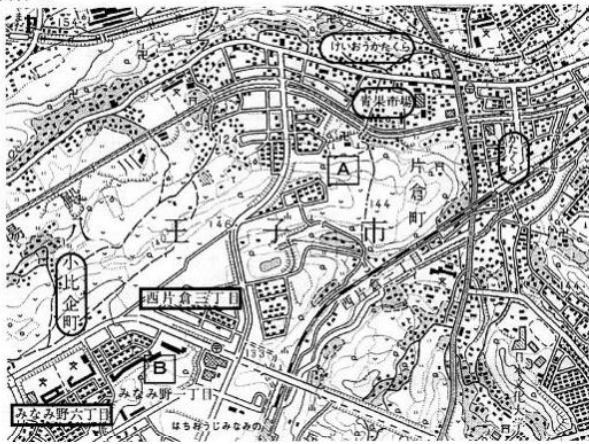
○ (5)は、各時代の様子について表した資料A, B, Cを時代順に並べ替える問題である。過去にも歴史的な事象を時代順に並べ替える問題は出題しているが、通過率が低かったことから、今回も出題した。ここでは、各時代の大きな流れを、特色を踏まえながら理解させることが重要である。

具体的には、例えば、年表等を活用して、時代の変わる年代や時代を象徴する出来事等について確実な習得を図ること。また、象徴する出来事等に注目させながら、時代の特色について理解を深めさせる必要がある。その際、他の時代と比較、関連させながら、共通点や相違点に着目させ、言葉や図等にまとめさせたり、お互いに意見を交換させる等の工夫を行うことが重要である。

【 特に定着を図りたい問題 <中2社会> 】

③ 次の資料を見て、各問いに答えなさい。

(資料1)



(1) 資料1の地形図の縮尺は、2万5千分の1である。みなみ野六丁目から西片倉三丁目までの直線距離は、地形図上ではかると約4cmである。実際の距離は約何kmか。

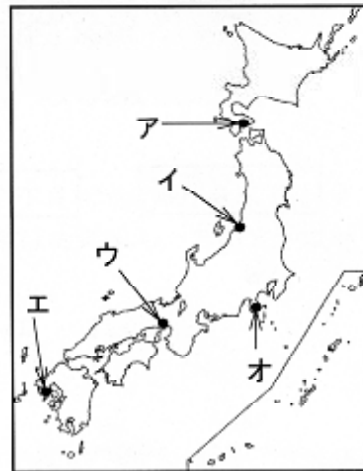
下のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 1 km イ 2 km ウ 3 km エ 4 km

通過率 49.0% / 無解答率 0.4%

④

(資料3)



(3) 資料1の下線部①で、函館とともに開かれた港を、資料3のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

通過率 52.9% / 無解答率 0.5%

○ ③の(1)は、2万5千分の1の地形図から、実際の距離を求める問題である。この問題は例年出題されており、通過率も低かったことから、継続して今回も出題したが、通過率が低かった。縮尺の問題については、乗法や除法、単位換算などの数学的な知識・技能も必要であるが、地図は、実際の距離を縮めて表していること等の見方について理解を深めさせることが重要である。

具体的には、地図等の積極的な活用を図りながら、機会あるごとに縮尺や地図記号、等高線等の見方について繰り返し指導を行い、基礎的・基本的な技能の習得を図る必要がある。また、社会科以外の教科や日常生活においても、地図を活用させ、生徒に読図の楽しさを味わわせることが重要である。

○ ④の(3)は、平成21年度にも出題しているが、通過率(25.4%)が低かったことから、改訂して出題した。昨年度と比較すると改善が図られているが、依然として通過率が低いことから、さらに指導を行っていく必要がある。

具体的には、歴史的事象が起こった場所については、その都度、地図帳を活用し位置を確認したり、白地図を活用して生徒に都市名や位置を記入させたりなどの工夫を行い、確実な習得を図るとともに、繰り返し指導を行う必要がある。

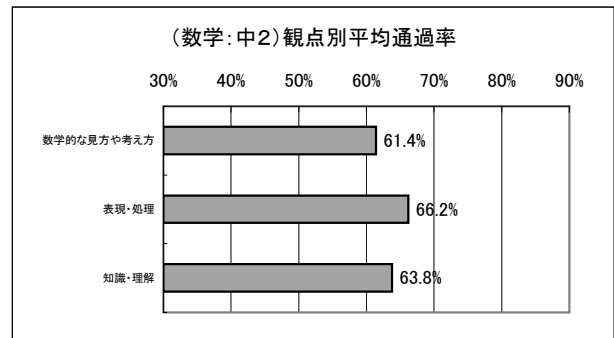
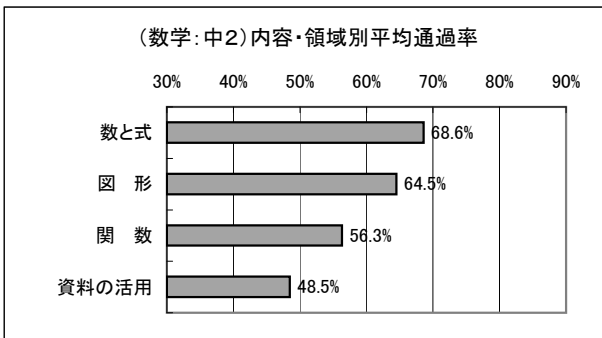
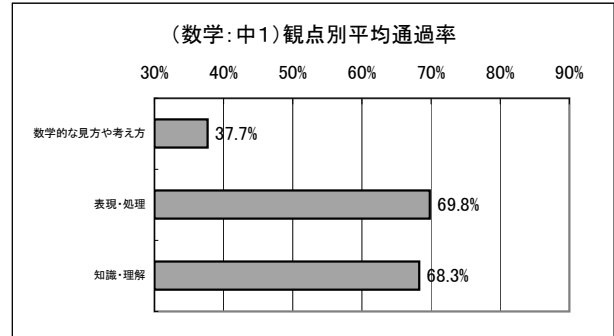
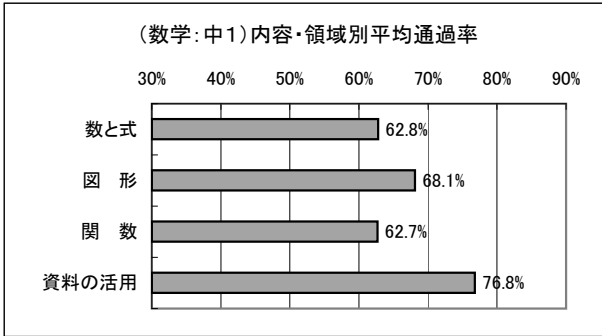
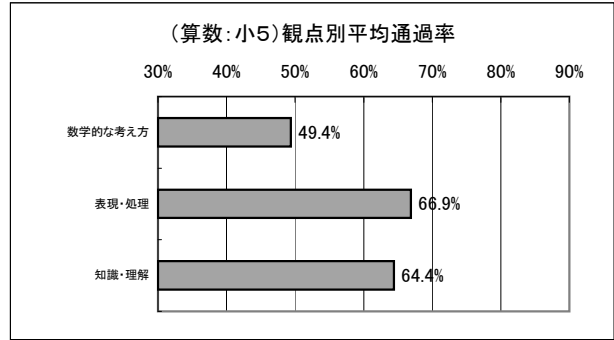
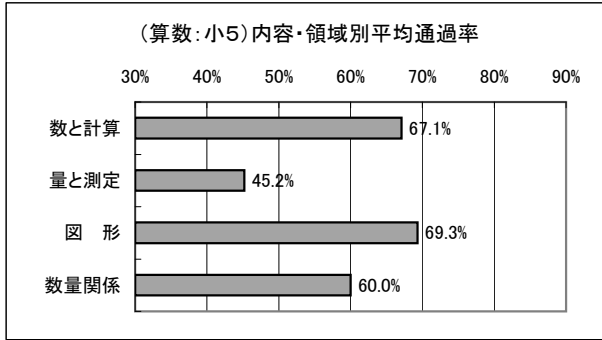
(3) 【算数・数学】

学年別平均通過率

小5 62.7%

中1 64.9%

中2 64.3%



小学校5年

- 「図形」の通過率は、ほぼ70%程度であり、四角形の性質に関する問題は概ね定着しているが、移行措置に伴い新しく加わった内容である三角形の合同に関する問題の理解が不十分である。
- 「量と測定」では、文章問題や図の中から必要な数値を見つけたり情報を取り出したりして面積を求める問題や、面積の大小を比較する問題の通過率が低い。
- 「数学的な考え方」では、昨年度同様、文章問題から数量関係を立式する問題や、伴って変わる数量を表や図に表し、対応する数量を表や言葉などを使って説明する問題に課題がある。

中学校1年

- 「資料の活用」の通過率は、70%を超えているが、「数と式」については、これまでも繰り返し出題している正負の数や文字式に関する問題の通過率の改善が図られていない。
- 「数学的な見方や考え方」では、文章問題から数量関係をとらえ、不等号を使って立式する力や、等式の性質を利用して、係数に分数や小数を含む方程式を解く方法を説明したり、百分率や歩合の意味を理解し、数の大小について、判断の理由を明らかにして論理的に記述したりする力の定着が不十分である。

中学校2年

- すべての内容・領域別とも70%を下回っており、特に「資料の活用」については、移行措置に伴い新しく加わった与えられた資料を表に整理して、度数や相対度数について考察する問題の通過率が低い。
- 「数学的な見方や考え方」では、例示された説明を基にして、事柄が一般的に成り立つことを説明したり、グラフから数量の変化を読み取り、適切に判断し、その理由を記述したりする力の定着が不十分である。

【特に定着を図りたい問題＜小5算数＞】

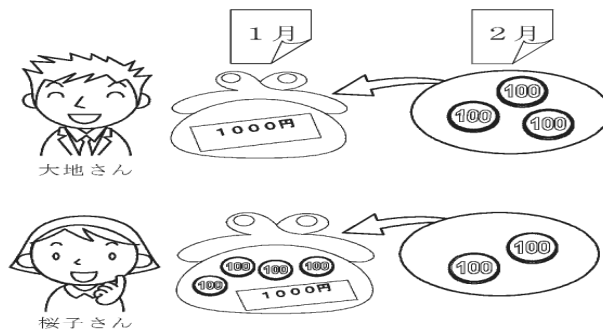
1 次の(1)～(8)の計算をせよ。

(6) $7 + 3 \times 0.4$

通過率 45.0% / 無解答率 0.8%

- 平成19年度から4年連続出題している計算問題であるが、通過率の改善がみられず、5割以下の通過率であった。継続している課題に対して、十分な指導がなされていない。
- 四則演算ができるかどうかを問う問題である。乗除優先の約束や位ごとに計算すること等が、十分に定着していないことを示している。
- 加減や乗除を用いる具体的な場面や、式の表現を結びつけて考える算数的活動を取り入れるなど、計算の順序や位ごとに計算することを意識できるように繰り返し指導していくことが大切である。
- 学習指導要領解説 算数編 P 165～168 数学編 P 56～60
鹿児島ベーシック P 8～10

14 大地さんは1000円、桜子さんは1400円、1月にもらったお年玉を貯金しました。2月から、大地さんは毎月300円ずつ、桜子さんは毎月200円ずつおこづかいを貯金していきます。大地さんの貯金額が桜子さんの貯金額より多くなるのは、何月になりますか。言葉や表、式などを使って説明しましょう。



通過率 37.1% / 無解答率 13.2%

- 数量の変化を図や表に表し、数量の関係や変化をとらえ、対応する数量を比べ、記述させる設問である。
- 文章題から数量の変化を図や表に分類整理し、課題を解決するために自分なりに表や図に表し、数量の関係を読み取り、それを記述する問題の通過率が低かった。
- 表をかいたり、読み取ったりする活動を十分に行い、表を活用できるようにすることが大切である。表を活用することにより、数量の変わり方の特徴を読むことなど、数量の関係の見方を深めることが大切である。
- 小学校学習指導要領解説 算数編 P 143～149, P 155～158
鹿児島チャレンジ P 4

【特に定着を図りたい問題<中1数学>】

1 次の(1)～(8)の計算をせよ。

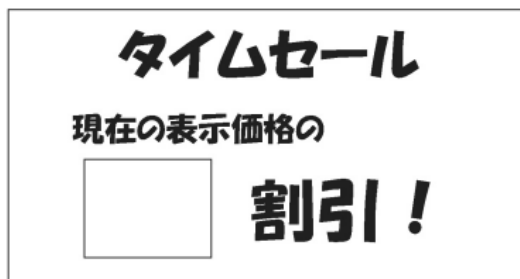
$$(7) \quad 18a \div \frac{2}{9}$$

通過率 43.5% / 無解答率 10.5%

- 平成20年度から3年連続出題している計算問題であるが、通過率の改善がみられず、4割程度の通過率で、無解答率も10.5%であった。継続している課題に対して、十分な指導がなされていない。
- 小学校の学習との関連を図り、分数の計算の意味や計算の仕方を言葉、数、式、図、数直線等を用いて説明するなどの学習を充実させながら、分数の除法の意味理解を丁寧にしていく必要がある。
- 学習指導要領解説 算数編P 165～168 数学編P 56～60
鹿児島ベーシックP 8～10

8 鈴木さんは、魚屋を営んでいます。ある日、鈴木さんは鱈を1匹1000円で仕入れ、30%の利益を見込んで売ることになりました。このとき、次の問いに答えなさい。

- 1 鱈1匹の売り値を求めよ。
- 2 鈴木さんは、タイムセールとして安売りをするために、下のような札を作った。このとき、鱈1匹の値段は、1000円より安くならないように、ぎりぎりの値段を設定したいと考えている。この条件にあうように、下の札の□の中にあてはまる整数を書け。また、その整数を選んだ理由を式や言葉を使って説明せよ。



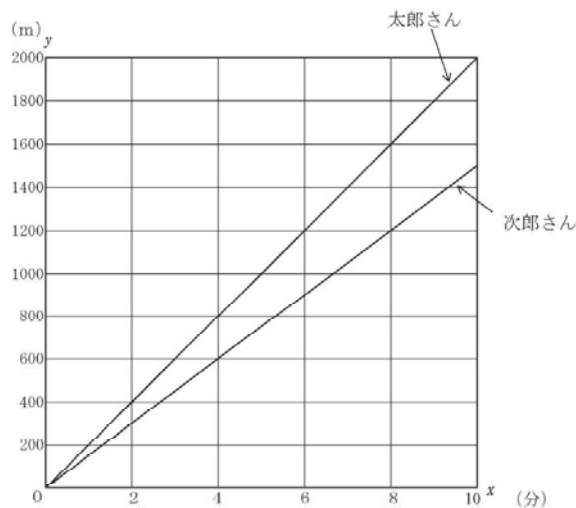
- 1 通過率 47.5% / 無解答率 18.5%
- 2 通過率 21.6% / 無解答率 29.3%

- 問1は、百分率の意味について理解し、それを用いることができるかどうかをみる設問である。
- 問2は、仕入れ値(1,000円)と値引き後の値段について、割合の考え方を基に、数の大小を判断し、その判断の理由を式や言葉を用いて数学的に表現できるかどうかを問う設問である。
- 日常生活の中から百分率や歩合が用いられる事象を問題として取り上げ、百分率や歩合について興味・関心をもたせることが大切である。
また、割合の考え方を基に、何を述べれば十分な説明になるかを考え、根拠となる事柄を明らかにして論理的に説明する必要がある。
- 学習指導要領解説 算数編P 162～163
鹿児島チャレンジP 35～36

【特に定着を図りたい問題<中2数学>】

14 太郎さんと次郎さんは、マラソン大会に向けて練習をしています。マラソンの練習を始めてから、 x 分後に進んだ道のりを y mとすると、最初の10分間をグラフに表すと下のようになりました。

このまま一定の速さで走り続けると、マラソンの練習を始めてから30分後には、太郎さんと次郎さんは何m離れているか求めなさい。また、なぜそのように考えたのか理由を説明しなさい。



通過率 45.2% / 無解答率 25.8%

○ 二つのグラフから数量を取り出し、それらの変化や対応について調べる活動を通して、一次関数を理解するとともに、関数関係を見だし、表現し、考察する能力を問う設問である。

○ 二つのグラフを読み取り、比例や割合の考え方を活用して、課題を解決する過程を記述する問題の通過率が低かった。また、無解答率も 25.8 % であり、文章を読んだ段階で、解こうとせずあきらめてしまっている状況がある。

理由として、グラフから数量の変化を読み取り、問題解決の方法や手順を考え、それを数学的な表現を用いて記述する力が十分定着していないことが挙げられる。

○ グラフから必要な情報を適切に選択し、今まで学習してきた内容と関連付けながら、解決方法（比例や割合の考え方を利用する、グラフから立式して値を求めるなど）を考えさせることが大切である。

また、問題解決の方法や手順を考え、それを数学的な表現（言葉や数、式、図、表、グラフなど）を用いて、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し、伝え合ったりするなどの指導を充実していくことが大切である。

○ 学習指導要領解説 数学編 P 72 ~ 77

鹿児島ベーシック（中学2年用 P 16）及び 20 年度改訂版⁴

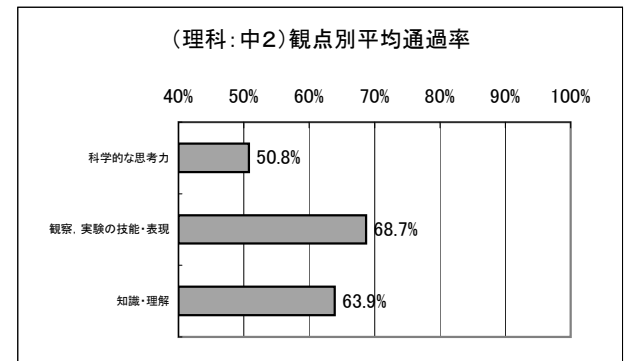
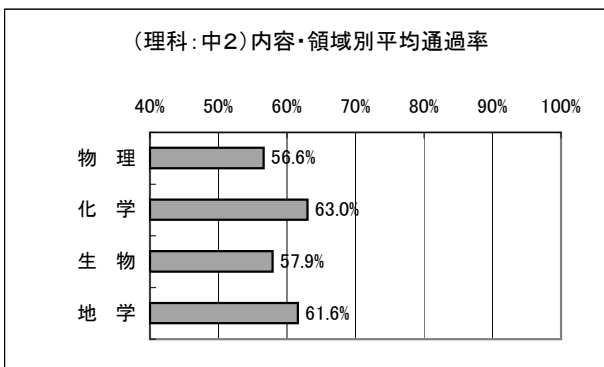
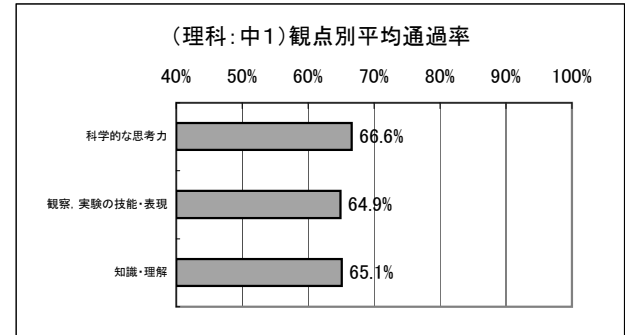
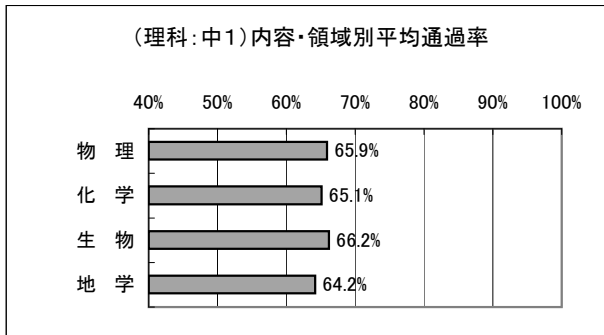
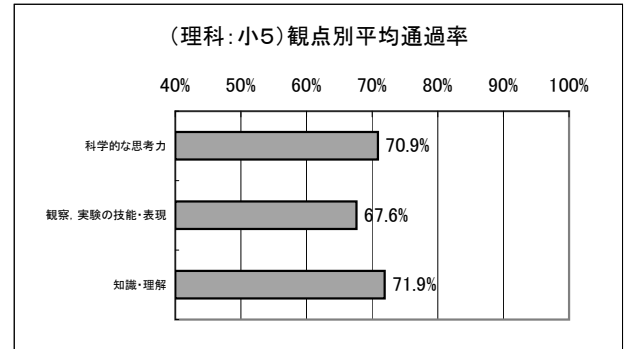
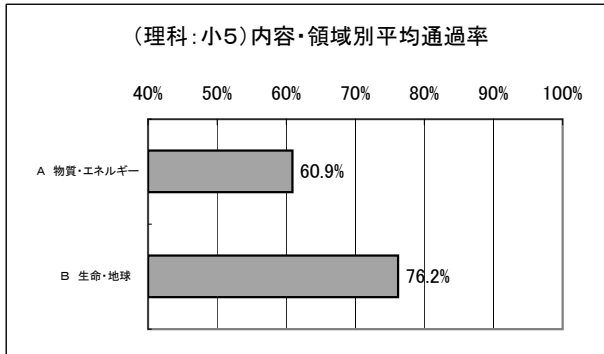
(4) 【理科】

学年別平均通過率

小5 70.6%

中1 65.7%

中2 59.8%



小学校5年

- 各観点の通過率は、いずれも70%程度でありバランスはとれているが、領域別に見ると、A：物質とエネルギーの定着に問題がある。
- 植物の発芽や成長を題材とした条件制御は、小学校において本格的に科学的な思考を伴う難しい内容であるが、昨年50%前後だった通過率が、70%を超え改善が見られた。一方、観察による実感を伴った理解が求められる「月の動き」については、改善が図られていない。

中学校1年

- 極端に通過率が高い問題も、低い問題もなく、各領域の差も見られなかった。
- 観点別の通過率も、バランスがとれてきており、改善が図られている。
- 新教育課程の先行実施に伴う新しい内容についても、概ね基礎的な理解が図られていた。
- 条件を制御した実験の結果から分かることを考察するような、思考力の育成が課題である。

中学校2年

- 観点別では、科学的な思考力を問う内容への対応が大きな課題である。
- 領域別に見ると、物理領域の「電気」、生物領域の思考を伴う内容で、極端に通過率が低い。
- 通過率の低い問題は、思考力を問う活用問題であるとともに、従来、概念形成が難しい内容である。思考の過程を重視し概念形成を深めるための一層の取組と、思考を整理し筋道を立てて問題を解決する力の育成が必要である。

【 特に定着を図りたい問題 <小5理科> 】

1 正子さんは、図1のようにして水を熱して湯をわかしました。①～④は、そのときのようすを表しています。次の各問に答えましょう。

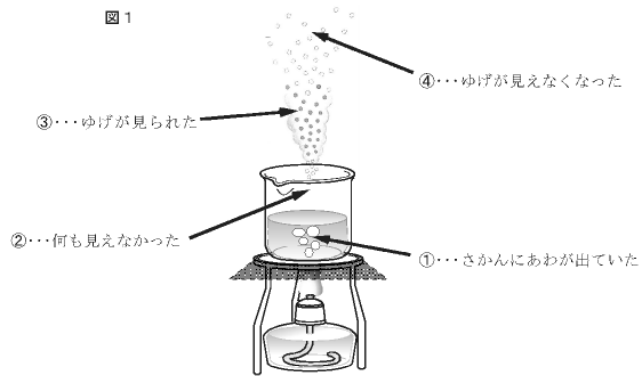
(1) 図1の①の部分からは、さかんにあわが出ていました。

このあわの正体は何でしょうか。次のア～エから1つ選んで、その記号を□に書きましょう。

(2) 図1の③の部分には、ゆげが見られました。このゆげの正体は何でしょうか。次のア～エから1つ選んで、その記号を□に書きましょう。

ア 空気 イ 氷 ウ 水 エ 水じょう気

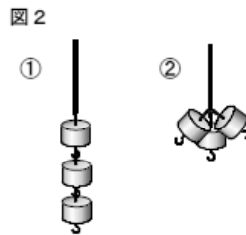
(1) 通過率 (30.3%) / 無解答率 (0.2%)
 (2) 通過率 (27.9%) / 無解答率 (0.2%)



9 (2) 図2のように、正子さんは、おもりを1個から3個にふやして、ふりが1往復する時間が変わるかどうかを調べました。その時、おもりのつなぎ方としては①と②のどれがよいのでしょうか。次のア～ウから最も適当なものを1つ選んで、その記号を□に書きましょう。

(3) (2)のように考えた理由を下の□に書きましょう。

(2) 通過率 (60.6%) / 無解答率 (0.2%)
 (3) 通過率 (40.7%) / 無解答率 (1.8%)



ア ①のつなぎ方がよい。
 イ ②のつなぎ方がよい。
 ウ どちらでもよい。

1 は誤概念を多く含む日常の事象について、正しい理解がなされているかを問う問題である。

- 水の状態変化について、見た目の違いと、水の三態を関連付け、正しく理解しているかを求めた。
- 例年、水の状態変化について、「ゆげは水蒸気」、「沸騰中に見られる泡は空気」といった誤概念が多く見られるが、今回も同様の傾向が見られ改善されていなかった。
- まず、児童の誤概念について把握し、その原因を分析するとともに、観察・実験を通して、誤概念を修正する必要がある。

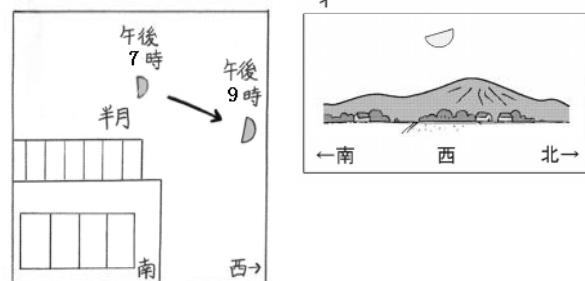
9 は条件制御に必要な条件を考え、正しい実験が行われているかどうかを見る問題である。

- 振り子のおもりの重さが、振れ方に及ぼす影響を確かめる実験において、そろえなければならない条件を考え、正しい実験が行われているかを求めた。
- 条件制御による比較を通して、規則性を発見する活動は、科学的な思考力を養う上で、大変重要である。条件制御という観点から、一つの条件以外は、全てそろっているか、きちんとおさえた実験を行う必要がある。

13 (2) 図2は、午後7時と9時に月のようすを観察し、スケッチしたものです。その日の、午後11時すぎに、月がしずむようすを観察すると、どのように見えるでしょうか。月のようすとして、最も適当なものを、次のア～エから1つ選んで、その記号を□の中に書きましょう。

通過率 (48.8%) / 無解答率 (0.3%)

図2 月の動きかた



観察・実験の結果から習得された知識・理解の定着を問う問題である。

- 月は1日のうちでも時刻によって位置が変わることについて、観察やその記録を通じた、実感を伴った理解を求めた。
- 昨年度もほぼ同一の問題を出題しているが、通過率は改善されておらず、定着は不十分である。観察とその結果の整理による確実な定着を図るとともに、映像や模型等を活用するなど、指導法の工夫が必要である。

【 特に定着を図りたい問題 <中 1 理科> 】

① 2 光合成のはたらきを調べるために、①～④の順序で実験を行った。

(3) この実験からわかることについて、最も適当なものを次のア～エから1つ選べ。

- ア 光合成には、光が必要である。
- イ 光合成には、二酸化炭素が必要である。
- ウ 光合成には、光と二酸化炭素が必要である。
- エ 光合成には、二酸化炭素と水が必要である。

通過率 (44.2%) / 無解答率 (0.4%)

【実験】

十分、光が当たるところに置く。 暗いところに置く。

A B

そのままの葉

① 水草を水の入ったビーカーに入れ、Aは十分光に当て、Bは一日中暗いところに置いた。

② Aの葉を1枚とり出して、プレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

10倍にうすめた漂白剤

A B

③ A、Bの葉をうすい漂白剤に5分ほどつけ、脱色した。

水でよくゆすぐ。

ヨウ素液

④ ③のA、Bの葉を水でよくゆすぎ、それぞれの葉の1枚ずつにヨウ素液をかけてプレパラートをつくり、顕微鏡で観察した。

【実験結果】

②では、細胞の中に緑色の粒が見られた。
④では、Aの葉のみ、②で見られた粒の部分が、青紫色に染まって見えた。

条件制御による実験結果を整理し、結論を見いだす、科学的な思考力を問う問題である。

- 光合成のはたらきについて、実験結果からわかることを整理し考察する力を求めた。
- 条件制御された実験の意味を考え、その結果からわかることを整理し、論理的に分析する思考力と粘り強さが不足している。
- 何を調べるのかをきちんと押さえ、目的意識を持った実験を企画させるとともに、見通しを持った実験を体験させることが必要である。また、実験結果から、わかることと、わからないことを整理し、論理的に探究する思考の過程を大切にすることが必要である。

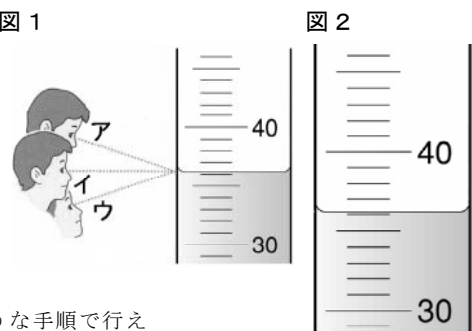
⑥ 1 図1は、水を入れたメスシリンダーを横から見た図であり、図 図1
2は、その拡大図である。

(1) メスシリンダーの目盛りを読みとるとき、目の位置はどこがよいか。最も適当なものを図1のア～ウから1つ選べ。

(2) 図2のメスシリンダー内の水の量を、正しく読み取りなさい。

(1) 通過率 (96.0%) / 無解答率 (0.5%)

(2) 通過率 (57.7%) / 無解答率 (0.8%)



⑦ (2) ガスバーナーに点火するためには、次のア～エの操作をどのような手順で行えばよいか。アをスタートにし、イ～エを、操作の順に並べかえよ。

- ア 空気調節ねじ、ガス調節ねじが閉まっていることを確認する。
- イ 空気調節ねじを開ける。
- ウ ガス調節ねじを開ける。
- エ マッチの火を近づける。

通過率 (42.5%) / 無解答率 (0.5%)



実験の基本的な技能の定着を見る問題である。

⑥ はメスシリンダーを用い、液体の体積を正しく読み取る技能を求めた。

○ 正しい読み位置は理解しているが、実際に読み取る技能の定着は不十分である。

⑦ は加熱実験に必要なガスバーナーの操作について、その基礎技能の定着を求めた。

○ ガスバーナーの操作の手順を、論理的に理解していない。

測定等を全員に経験させるなど、直接体験を重視した指導により、観察・実験の技能の定着を図る指導が必要である。

【 特に定着を図りたい問題 <中2理科> 】

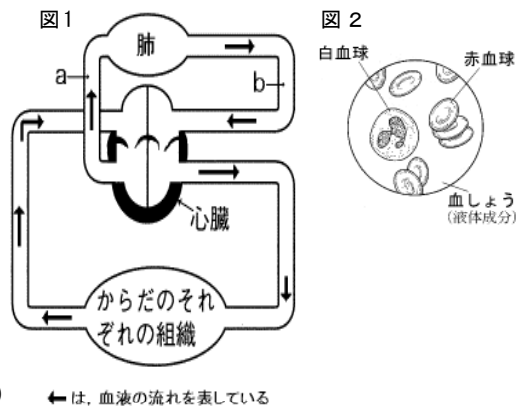
2 図1は心臓を中心としたヒトの血液循環のようすを、図2は血液の成分を拡大したものを、図3は小腸のかべを拡大したようすを模式的に表したものである。

これについて、次の各問いに答えなさい。

(1) 図1で、血管a、bのうち、酸素を多く含んでいる血液が流れているのはどちらか。また、その血管は動脈、静脈のどちらか。正しい組み合わせを、次のア～エから1つ選べ。

- | | |
|-----------|-----------|
| ア 血管aで、動脈 | イ 血管bで、動脈 |
| ウ 血管aで、静脈 | エ 血管bで、静脈 |

通過率 (27.8%) / 無解答率 (0.2%)



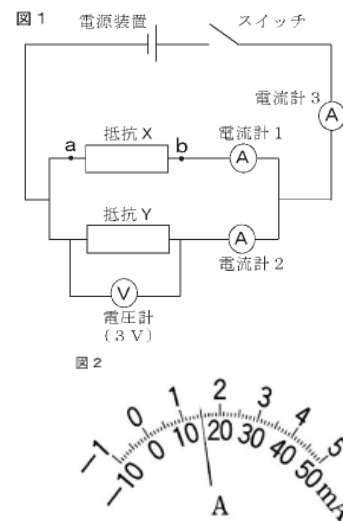
習得した知識を体系化し、総合的な理解を問う問題

- 肺循環と体循環における血液の循環経路から、血液を仲立ちとして各器官が関連し合っていることや、その機能を支える循環系の意義について、総合的な理解を求めた。
- 肺循環で、血管名と血液名が逆になる理由について、心臓を中心とした血液循環と血管のつくりを関連させて理解することが不足している。
- 例年ほぼ同一または類似の問題が出題されているにもかかわらず、改善が図られていない。暗記ではなく、心臓と肺のつくりと機能の理解を図りながら、物質の循環をモデルで説明する活動を取り入れるなどの工夫をし、総合的に理解させる必要がある。

8 抵抗 X、Yと電圧計、電流計、電源装置、スイッチを使って、図1のような回路をつくった。図1のスイッチを入れたとき、電圧計は3Vを示し、電流計2の針は図2のようになった。次の各問いに答えなさい。

- (1) 図2の針は、何mAを示しているか。ただし、電流計の-端子は500mAにつないであるものとする。
- (2) a b間の電圧は、何Vか。
- (3) このとき、電流計3の針は250mAを示していた。電流計1は、何mAを示しているか。
- (4) 抵抗Yの抵抗は、何Ωか。

- | |
|--------------------------------|
| (1) 通過率 (76.7%) / 無解答率 (2.4%) |
| (2) 通過率 (76.7%) / 無解答率 (5.1%) |
| (3) 通過率 (45.7%) / 無解答率 (7.7%) |
| (4) 通過率 (24.8%) / 無解答率 (12.6%) |



電流、電圧の関係に関する基本的な理解を問う問題である。

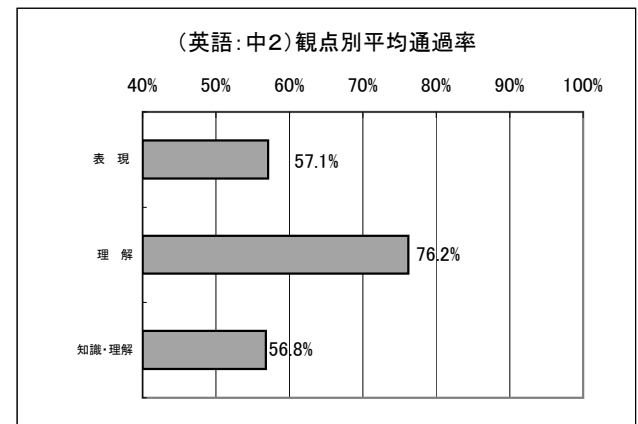
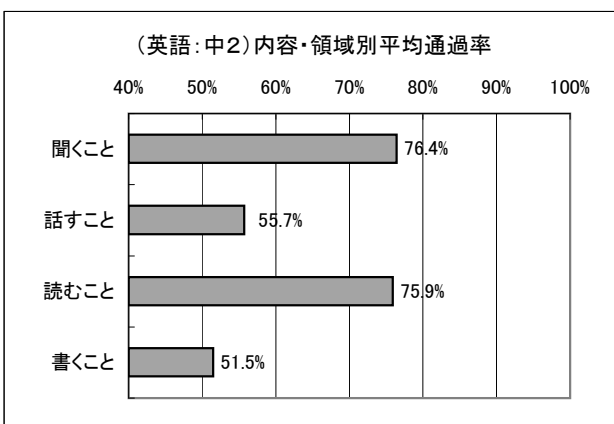
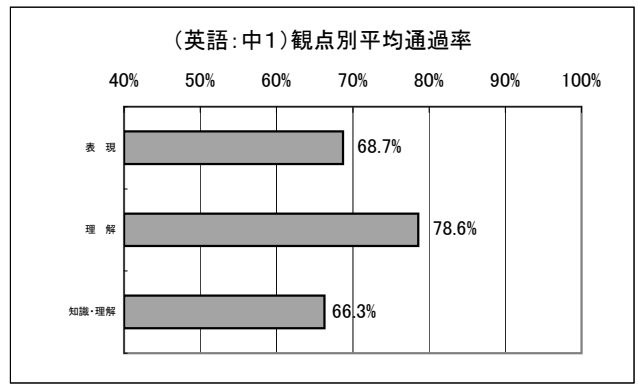
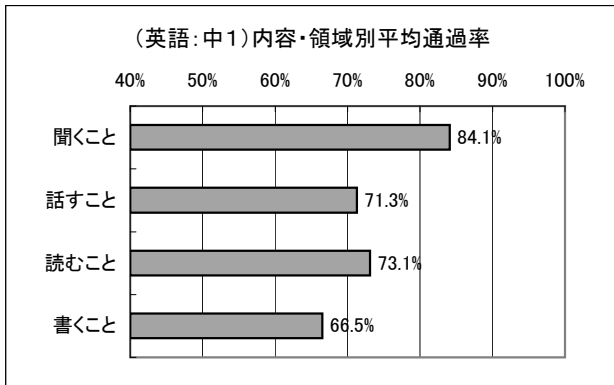
- これまで、出題のなかった、並列回路の規則性についての出題である。並列回路における電流と電圧の関係についての基礎的理解と、オームの法則を活用する力を求めた。
- 電気領域は、例年定着が悪い領域であるが、無解答率が高いことから、生徒が電気領域に苦手意識を持っていることがわかる。
- わかっていることと、わからないことを整理し、筋道を立てて考え、結論づけるといった科学的な思考力の育成が必要であるが、同時に、学んだ規則や法則を活用できるようにするためのトレーニングを行い、生徒にわかることを実感させる指導も必要である。

(5) 【英語】

学年別平均通過率

中1 73.9%

中2 66.6%



中学校 1 年

- 「理解」については、通過率 78.6% で、特に聞いて概要・要点を把握すること等については定着が図られているが、「表現」については、通過率 68.7% であり課題が残る。
- 「書くこと」では、自己紹介の英文を作成することには慣れてきている。しかし、授業等で頻繁に使われる基本的な語句や文構造などについて活用する力が不十分である。
(例) This is a picture of my family. (family の記述 52.4%)
My mother doesn't like soccer. (doesn't の記述 41.6%)
- 疑問詞、代名詞、否定文の構造等について類似の問題を出題しているが、定着度は不十分である。 (例) What sports do you like? (並べ替え 45.9%)

中学校 2 年

- 「理解」が通過率 76.2% であり、聞いて適切に応答したり、読んで要点をとらえたりする力は定着しているが、一部通過率の低い設問もあることから指導が必要である。
「表現」及び「言語知識」について、57.1%、56.8% と課題が残る。
- 語彙力や文構造を試す問題においては、基本語や不定詞などの定着度が不十分である。
(例) I like to play computer games. (並べ替え 44.5%)
- 「書くこと」では、与えられたトピック「学校の紹介」については、通過率 40.8%、無答率 19.6% (6 問平均) であり、身近な話題について既習事項を用いて、まとまりのある文章で表現する力が不十分である。

【 特に定着を図りたい問題 <中1英語> 】

7 次の(1)～(3)のそれぞれの対話が成立するように、に入る最も適当な英文をア～エの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

- (3) A: What do you have in your bag? ア Yes, I do.
 B: イ I have a book.
 ウ It's your bag.
 エ I have two.

(注) bag : かばん

(通過率44.4% / 無解答率0.5%)

7 (3)は、疑問詞を使った疑問文の応答の問題であるが、通過率が例年低い。疑問詞を用いた疑問文の文構造とその応答の仕方を理解させた上で、音声による口頭練習で慣れ親しませ、書くことの活動を通じて定着を図る必要がある。

- yes-no 疑問文, wh-疑問文などの基本的な特徴をその応答の仕方の違いなどからも理解させる必要がある。
- 疑問文においては、平叙文と語順が異なったり、動詞の形が変化したりすることなどを言語活動の中で何度も使用させることで習熟させる必要がある。

《音声指導と文字指導を関連付けた学習活動の例》

まとまりのある英語 → 「聞く活動」 または 「読む活動」 → 英問英答
 → 英問英答の内容について「書く活動」

- 中学校学習指導要領解説外国語編 P17～19 「エ 書くこと」
 鹿児島ベーシック 中1 22年度

8 次の(1)～(5)の の部分が、それぞれの対話の流れに合うように、[]内の語を並べかえなさい。答えは、左から順に記号で書きなさい。

ただし、[]内の語は、文のはじめにくる語も小文字になっています。

- (2) A: Your bag is nice.
 B: Thank you. But .
 [ア not イ is ウ new エ it] (通過率43.3% / 無解答率1.0%)
- (5) A: Do you like sports? (注) sports : スポーツ
 B: Yes, I do.
 A: like?
 B: I like tennis.
 [ア sports イ do ウ what エ you] (通過率45.9% / 無解答率0.9%)

8 は、基本的な代名詞、否定文および疑問詞の文構造の理解をみる問題であり、例年出題している。語と語のつながりを意識して、正しい語順や語法で書くことの言語活動の充実を図る必要がある。

- 単語の意味や働きから単語間の結びつきを理解させ、適切な語順で文を書くことができるように指導することが大切である。
- 語順や修飾関係などにおける英語と日本語との違いなどに留意して指導する必要がある。
- 基本文を活用して、身近な事柄について自分で英文を構成する活動を通して、正しい語順や語法で書くことの学習指導の充実を図る。
- 中学校学習指導要領解説外国語編 P17～19 「エ 書くこと」

鹿児島ベーシック 中1 22年度

【 特に定着を図りたい問題 <中2英語> 】

- 11 あなたは、新しく来る ALT（英語指導助手）の先生に、自分の学校について紹介することになりました。□□□□ に注意して発表する内容を、英語で3文以上書きなさい。ただし、最初の文は My school is に続けて書きなさい。

I'm going to talk about my school.

My school is _____

【1つだけ文が正確に書けた】	【内容が伝わる文を1つ書けた】	【1文目から】
通過率（55.6%）	通過率（61.4%）	無解答率（14.4%）
【2つまで文が正確に書けた】	【内容が伝わる文2つ書けた】	【2文目から】
通過率（33.4%）	通過率（43.1%）	無解答率（20.0%）
【3つ全て文が正確に書けた】	【内容が伝わる文を3つ書けた】	（3文目だけ）
通過率（21.2%）	通過率（30.3%）	無解答率（24.3%）

- 自分の考えを表現する問題の通過率は、昨年度より改善されているが、定着度は不十分である。与えられたトピックについて、まとまった内容の文章を書くことに習熟させる必要がある。
- 単元の指導計画において、身近な場面における出来事や体験したことなどについて、まとまった文章を書く時間を確保するなどの改善を図る必要がある。
- まとまりのある文章を書く力を高めるために、身近な話題(トピック)を提示し、どの程度表現させたいかを中・長期的視点でとらえ、継続的な指導を行う必要がある。
- 単元の指導計画及び1単位時間の指導計画において、「話すこと」と「書くこと」の言語活動を関連付ける学習活動を設定するなど工夫が必要である。

トピック（例）

「自分の好きな人、もの」「ある日の日記」「自分の学校」「就きたい職業」
「学校行事等で体験したこと」「外国人との出会い」「テレビ番組」

「話すこと」と「書くこと」などの言語活動の関連付けた学習活動の例

- ・ 英語スピーチの例
原稿作成（1回目）→ グループによる原稿の推敲 → 原稿作成（2回目）
→ 音読練習 → 英語スピーチの発表
※ 原稿作成（書くこと）、グループによる原稿の推敲（相互にアドバイスを与える）、音読（読むこと）、英語スピーチ（話すこと）など

- 中学校学習指導要領解説外国語編 P17～19 「エ 書くこと」
鹿児島ベーシック中2 22年度 22 23

3 各設問の分類と平均通過率

(1)-1 国語(小学校第5学年)

	設問			出題 学年	学習指導要領		内容領域別						平均 通過率 (%)				
	大問	中間	小問		内容・ 領域	出題項目	聞き 取り	文学 的な 文章	説明 的な 文章	構成 力・効 果的な 表現	文法・ 語句の 意味や 用法	漢字 (読 み・書 き)		話す・ 聞く	書く	読む	言語
1	1	一	1	小5	聞き取り	A-(1)-イ	○						○				98.5%
2			2	小5	聞き取り	A-(1)-イ	○						○				85.4%
3		二	3	小5	聞き取り	A-(1)-イ	○					○				40.0%	
4			小5	聞き取り	A-(1)-イ	○						○				68.6%	
5	2	一	小5	文学的 な文章	C-(1)-ウ		○							○		64.3%	
6		二	小5	文学的 な文章	C-(1)-ウ		○							○		92.1%	
7		三	小5	文学的 な文章	C-(1)-ウ		○							○		85.0%	
8	3	一	小5	説明的 な文章	C-(1)-イ			○						○		78.4%	
9			小5	説明的 な文章	C-(1)-オ			○						○		61.7%	
10		四	小5	説明的 な文章	C-(1)-エ			○						○		64.6%	
11			小5	説明的 な文章	C-(1)-エ			○						○		69.2%	
12			小5	説明的 な文章	C-(1)-エ			○					○		51.1%		
13	4			小5	書くこと	B-(1)-ウ				○			○			45.8%	
14	5	一	1	小5	反対語	言(1)ウ(ア)					○				○	45.3%	
15			2	小5	反対語	言(1)ウ(ア)						○				○	60.1%
16			3	小5	反対語	言(1)ウ(ア)						○				○	43.6%
17		二	1	小4	接続詞	言(1)ウ(ア)					○					○	91.1%
18			2	小4	接続詞	言(1)ウ(ア)						○				○	84.1%
19			3	小4	接続詞	言(1)ウ(ア)						○				○	84.1%
20		三	1	小5	敬語 (尊敬語)	言(1)カ(ア)						○				○	87.8%
21			2	小5	敬語 (謙譲語)	言(1)カ(ア)						○				○	73.6%
22			3	小5	敬語 (謙譲語)	言(1)カ(ア)						○				○	76.1%
23		6	一	1	小5	漢字 (読み)	言(1)ア(ア)					○				○	91.0%
24	2			小1	漢字 (読み)	言(1)ア(ア)						○				○	67.2%
25	3			小5	漢字 (読み)	言(1)ア(ア)						○				○	90.4%
26	4			小2	漢字 (読み)	言(1)ア(ア)						○				○	48.8%
27	二		1	小3	漢字 (書き)	言(1)ア(ア)						○				○	73.0%
28			2	小4・2	漢字 (書き)	言(1)ア(ア)						○				○	59.5%
29			3	小3	漢字 (書き)	言(1)ア(ア)						○				○	82.0%
30			4	小4・2	漢字 (書き)	言(1)ア(ア)						○				○	51.3%
31	7	観点1	小5	書くこと	B-(1)-イ					○			○			84.7%	
32		観点2	小5	書くこと	B-(1)-エ						○			○		60.9%	
33		観点3	小5	書くこと	B-(1)-ア						○			○		51.8%	
計					問題数	4	3	5	4	9	8	4	4	8	17	70.0%	
					出題割合	12.1%	9.1%	15.2%	12.1%	27.3%	24.2%	12.1%	12.1%	24.3%	51.5%		

(1)-2 国語(中学校第1学年)

	設問			出題 学年	学習指導要領		内容領域別						観点別				平均 通過率 (%)			
	大問	中問	小問		内容・ 領域	出題項目	聞き 取り	文学 的な 文章	説明 的な 文章	構成 力・効 果的な 表現	文法・ 語句の 意味や 用法	漢字 (読 み・書 き)	話す・ 聞く	書く	読む	言語				
1	1	一		中1	聞き取り	A-(1)-ア	○								○				86.6%	
2		二		中1	聞き取り	A-(1)-ウ	○								○				76.6%	
3	2	一		中1	文学的な 文章	C-(1)-イ		○									○		65.8%	
4		二		中1	文学的な 文章	C-(1)-イ		○									○		56.5%	
5		三		中1	文学的な 文章	C-(1)-ウ		○									○		56.4%	
6		四		中1	文学的な 文章	C-(1)-カ		○									○		87.7%	
7		五		中1	文学的な 文章	C-(1)-オ		○									○		79.3%	
8	3	一		中1	説明的な 文章	C-(1)-ア				○							○		75.0%	
9		二		中1	説明的な 文章	C-(1)-ア				○							○		70.2%	
10		三		中1	説明的な 文章	C-(1)-イ				○							○		47.3%	
11		四		中1	説明的な 文章	C-(1)-ウ				○							○		58.2%	
12		五		中1	説明的な 文章	C-(1)-ア				○							○		73.1%	
13		六		中1	説明的な 文章	C-(1)-エ				○							○		80.7%	
14	4	一	1	小3	漢 (読 み)	言(2)ア						○					○		68.9%	
15			2	小5	漢 (読 み)	言(2)ア							○					○		85.5%
16			3	小6・小4	漢 (読 み)	言(2)ア							○					○		98.2%
17			4	小4・小3	漢 (読 み)	言(2)ア							○					○		93.0%
18			5	小5	漢 (書 き)	言(2)イ							○					○		65.3%
19			6	小3	漢 (書 き)	言(2)イ							○					○		85.4%
20			7	小4・小2	漢 (書 き)	言(2)イ							○					○		65.0%
21			8	小6・小2	漢 (書 き)	言(2)イ							○					○		43.0%
22	二	1	中1	語句	言(1)ウ					○							○		97.7%	
23		2	中1	語句	言(1)ウ					○							○		93.7%	
24		3	中1	語句	言(1)イ					○							○		80.5%	
25	三	1	中1	文法	言(1)オ					○							○		80.0%	
26		2	中1	文法	言(1)オ					○							○		60.2%	
27	5	一		中1	作文 (事柄)	B-(1)-イ				○						○			79.4%	
28		二		中1	作文 (認識)	B-(1)-ア				○						○			76.5%	
29		三	①	中1	作文 (発想認識)	B-(1)-ア				○						○			48.9%	
30			②	中1	作文 (選材)	B-(1)-ウ				○						○			65.4%	
31			③	小4	作文 (記述)	B-(1)-エ				○						○			64.7%	
計					問題数	2	5	6	5	5	8	2	5	11	13			73.1%		
					出題割合	6.5%	16.1%	19.4%	16.1%	16.1%	25.8%	6.5%	16.1%	35.5%	41.9%					

(1)-3 国語(中学校第2学年)

	設問			出題 学年	学習指導要領		内容領域別						観点別				平均 通過率 (%)	
	大問	中問	小問		内容・ 領域	出題項目	聞き 取り	文学 的な 文章	説明 的な 文章	構成 力・効 果的な 表現	文法・ 語句の 意味や 用法	漢字 (読 み・書 き)	話す・ 聞く	書く	読む	言語		
1	1	一		中2	聞き取り	A-(1)-イ	○						○				93.6%	
2		二		中2	聞き取り	A-(1)-ウ	○						○				91.3%	
3	2	一		中2	文学的な 文章	C-(1)-ア		○							○		55.8%	
4		二		中2	文学的な 文章	C-(1)-イ		○							○		79.5%	
5		三		中2	文学的な 文章	C-(1)-ウ		○							○		70.9%	
6		四		中2	文学的な 文章	C-(1)-エ		○							○		56.7%	
7		五		中2	文学的な 文章	C-(1)-エ		○							○		77.5%	
8	3	一		中2	説明的な 文章	C-(1)-イ			○						○		83.2%	
9		二		中2	説明的な 文章	C-(1)-イ			○						○		68.7%	
10		三		中2	説明的な 文章	C-(1)-イ			○						○		42.7%	
11		四		中2	説明的な 文章	C-(1)-イ			○						○		43.9%	
12		五		中2	説明的な 文章	C-(1)-エ			○						○		76.8%	
13	4	一	1	小6	漢 (読 み)	言(2)ア						○				○	50.8%	
14			2	小5	漢 (読 み)	言(2)ア							○				○	95.6%
15			3	小5・5	漢 (読 み)	言(2)ア							○				○	79.0%
16			4	中1小4	漢 (読 み)	言(2)ア							○				○	84.8%
17			5	小6	漢 (読 み)	言(2)イ							○				○	80.7%
18			6	小4・4	漢 (書 き)	言(2)イ							○				○	70.4%
19			7	小5・6	漢 (書 き)	言(2)イ							○				○	78.5%
20			8	小4・1	漢 (書 き)	言(2)イ							○				○	58.1%
21		二	1	中2	語句	言(1)イ					○					○	88.3%	
22			2	中2	語句	言(1)ウ					○					○	98.0%	
23			3	中2	語句	言(1)エ					○					○	96.8%	
24		三	1	中2	文法	言(1)オ					○					○	36.2%	
25			2	中2	文法	言(1)カ					○					○	41.3%	
26	3		中2	文法	言(1)カ					○					○	40.9%		
27	5	①	中2	作文 (推敲)	B-(1)-オ				○				○			37.3%		
28			②	中2	作文 (事柄)	B-(1)-イ				○				○			83.0%	
29			③	中2	作文 (発想)	B-(1)-ア				○				○			49.8%	
30		②	中2	作文 (意見)	B-(1)-イ				○				○				64.3%	
31			③	中2	作文 (記述)	B-(1)-ア				○				○			43.7%	
32			④	小4	作文 (記述)	B-(1)-エ				○				○			33.2%	
計						問題数	2	5	5	6	6	8	2	6	10	14	67.8%	
						出題割合	6.3%	15.6%	15.6%	18.8%	18.8%	24.9%	6.3%	18.8%	31.2%	43.7%		

(2)-1 社会 (小学校第5学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別					観 点 別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		領域	内容	農業	水産業	工業	運輸・貿易	県の様子	社会的な 思考・判断	資料 活用 の技 能・表 現	知識・ 理解	
1	1	1	1	小5	農業	(1)ーイ	○					○		93.9%	
2			2	小5	農業	(1)ーイ	○					○		80.0%	
3		2	3	小5	農業	(1)ーウ	○						○	65.4%	
4			4	小5	農業	(1)ーウ	○						○	90.6%	
5	2	1		小5	農業	(1)ーウ	○				○		59.2%		
6		2		小5	農業	(1)ーウ	○					○	74.0%		
7	3			小5	農業	(1)ーウ	○					○	90.9%		
8	4	1	1	小3・小4	県の様子	(6)ーイ					○		○	71.0%	
9			2	小3・小4	県の様子	(6)ーイ					○		○	66.6%	
10		2		小3・小4	県の様子	(6)ーイ					○		○	71.5%	
11			3		小3・小4	県の様子	(6)ーア				○		○	69.8%	
12	5	1		小5	水産業	(1)ーウ		○				○	82.5%		
13				小5	水産業	(1)ーア		○				○	67.2%		
14		2		小5	水産業	(1)ーウ		○			○		70.1%		
15	6	1		小5	水産業	(1)ーウ		○			○		66.6%		
16			2		小5	水産業	(1)ーイ		○				○	54.5%	
17		3		小5	水産業	(2)ーイ		○				○	39.8%		
18	7	1		小5	工業	(2)ーイ			○		○		74.1%		
19			2		小5	工業	(2)ーイ			○		○	83.5%		
20		3		小5	工業	(2)ーウ			○		○		62.5%		
21	8	1		小5	工業	(2)ーウ			○		○		73.6%		
22			2		小5	工業	(2)ーウ			○		○		94.4%	
23	9	1	1	小5	工業	(2)ーイ, ウ			○			○	69.3%		
24			2	小5	工業	(2)ーイ, ウ			○			○	69.8%		
25			3	小5	工業	(2)ーイ, ウ			○			○	68.9%		
26		2		小5	工業	(2)ーイ, ウ			○		○	76.9%			
27	10	1		小5	運輸・貿易	(1)ーア				○			○	80.2%	
28			2		小5	運輸・貿易	(1)ーア				○		○	71.8%	
29			3		小5	運輸・貿易	(1)ーア				○		○	49.5%	
30	11	1		小5	運輸・貿易	(2)ーウ				○		○	76.2%		
計						問題数	7	6	9	4	4	10	8	12	72.1%
						出題割合	23.4%	20.0%	30.0%	13.3%	13.3%	33.3%	26.7%	40.0%	

(2)-2 社会 (中学校第1学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別					観 点 別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		領域	内容	世界 の地域 構 成	日本 の地域 構 成	身 近な 地域	歴史 の流 れと 地域 の歴史	古 代ま での 日 本	社 会 的 な 思 考・ 判断	資 料 活 用 の 技 能・ 表現	知 識・ 理 解	
1	1		1	中1	地理	(1)-ア-(ア)	○						○		53.9%
2			2	中1	地理	(1)-ア-(ア)(イ)	○						○		79.1%
3			3	中1	地理	(1)-ア-(ア)	○						○		62.7%
4			4	中1	地理	(1)-ア-(イ)	○							○	57.9%
5			5	中1	地理	(1)-ア-(イ)	○						○		61.1%
6	2		1	小5・中1	地理	(1)-イ-(ア)		○						○	59.3%
7			2	中1	地理	(1)-イ-(ア)		○						○	75.8%
8			3	中1	地理	(1)-イ-(ア)		○						○	83.8%
9			4	中1	地理	(1)-イ-(ア)		○						○	80.4%
10			5	中1	地理	(1)-イ-(イ)		○						○	82.0%
11	3		1	中1	地理	(2)-ア			○				○		54.7%
12			2	中1	地理	(2)-ア			○				○		78.6%
13			3	中1	地理	(2)-ア			○				○		73.6%
14			4	中1	地理	(2)-ア			○				○		77.6%
15			5	小5・中1	地理	(1)-イ-(イ)		○					○		38.6%
16	4		1	中1	歴史	(2)-ア				○			○	71.0%	
17			2	中1	歴史	(2)-ア					○	○			58.0%
18			3	中1	歴史	(1)-イ				○				○	61.5%
19			4	中1	歴史	(2)-イ					○	○			52.2%
20			5	中1	歴史	(2)-イ					○			○	88.5%
21			6	中1	歴史	(2)-イ					○	○			65.0%
22	5		1	中1	歴史	(2)-ウ				○			○	80.2%	
23			2	小6・中1	歴史	(2)-ウ					○	○			19.1%
24			3	中1	歴史	(2)-エ					○			○	81.8%
25			4	中1	歴史	(2)-ウ					○		○		47.5%
26			5	中1	歴史	(2)-ウ					○	○			34.9%
27	6		1	小6・中1	歴史	(1)-ア				○			○	63.3%	
28			2	中1	歴史	(2)-エ					○			○	29.9%
29			3	小6・中1	歴史	(1)-イ (3)-イ				○		○			59.5%
30			4	中1	歴史	(2)-ウ					○	○			79.2%
計					問題数	5	6	4	3	12	9	8	13	63.7%	
					出題割合	16.7%	20.0%	13.3%	10.0%	40.0%	30.0%	26.7%	43.3%		

(2)-3 社会 (中学校第2学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別					観 点 別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		領域	内容	世界の 地域構 成	身近な 地域	世界の 国々	様々な 面から とらえ た日本	近現代 の日本 と世界	社会的 な思 考・判 断	資料活 用の技 能・表 現	知識・ 理解	
1	1		1	中1	地理	(1)-ア-(ア)	○						○		63.9%
2			2	中1	地理	(1)-ア-(ア)	○							○	89.8%
3			3	中1	地理	(1)-ア-(ア)	○						○		80.5%
4			4	中2	地理	(2)-ウ			○			○			83.9%
5			5	中2	地理	(2)-ウ			○				○		53.6%
6	2		1	中2	地理	(3)-ア-(ア)				○			○	88.1%	
7			2	中2	地理	(3)-ア-(ア)				○		○		60.0%	
8			3	中2	地理	(3)-ア-(ア)				○		○		66.6%	
9			4	中2	地理	(3)-ア-(ア)				○				○	62.1%
10			5	中2	地理	(3)-ア-(ア)				○				○	42.4%
11	3		1	小3・中1	地理	(2)-ア		○					○	49.0%	
12			2	小3・中1	地理	(2)-ア		○						○	85.6%
13			3	小3・中1	地理	(2)-ア			○				○		73.7%
14			4	小3・中1	地理	(2)-ア			○				○		80.3%
15			5	中2	地理	(3)-ア-(ア)			○					○	81.7%
16	4		1	中2	歴史	(5)-ア					○		○	59.0%	
17			2	中2	歴史	(5)-ア					○		○	68.3%	
18			3	小6・中2	歴史	(5)-ア					○			○	52.9%
19			4	小6・中2	歴史	(5)-ア					○		○		51.2%
20	5		1	小6・中2	歴史	(5)-イ					○	○		58.8%	
21			2	中2	歴史	(5)-イ					○	○		61.1%	
22			3	小6・中2	歴史	(5)-イ					○		○		87.5%
23	6		1	小6・中2	歴史	(1)-ア					○			○	64.3%
24			2	小6・中2	歴史	(5)-ウ					○	○			67.9%
25			3	小6・中2	歴史	(5)-ウ					○	○			64.2%
26			4	小6・中2	歴史	(5)-ウ					○			○	92.9%
27			5	小6・中2	歴史	(5)-エ					○			○	94.3%
28	7		1	中2	歴史	(5)-オ					○			○	65.1%
29			2	中2	歴史	(5)-オ					○	○			62.0%
30			3	中2	歴史	(5)-オ					○		○		76.0%
計					問題数	3	5	2	5	15	8	9	13	69.6%	
					出題割合	10.0%	16.7%	6.6%	16.7%	50.0%	26.7%	30.0%	43.3%		

(3)-1 算数(小学校第5学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		内容・ 領域	出題項目	数と 計算	量と 測定	図形	数量 関係	数学的 な考え 方	表現・ 処理	知識・ 理解	
1	1	1		小3	数と計算	A-(3)-イ	○					○		86.0%
2		2		小4	数量関係	D-(2)-ア				○		○		64.2%
3		3		小4	数と計算	A-(5)-イ	○					○		77.4%
4		4		小5	数と計算	A-(3)-イ	○					○		82.5%
5		5		小5	数と計算	A-(3)-イ	○					○		56.1%
6		6		小4	数量関係	D-(2)-ア				○		○		45.0%
7		7		小4	数と計算	A-(6)-イ	○					○		87.2%
8		8		小5	数と計算	A-(4)-オ	○					○		82.2%
9	2	1		小5	数と計算	A-(3)-ア	○					○	57.6%	
10	3	1		小4	数と計算	A-(2)-イ	○					○	57.5%	
11	4	1		小5	数と計算	A-(1)-イ	○					○	70.5%	
12		2		小5	数と計算	A-(1)-イ	○					○	73.9%	
13	5	1		小4	図形	C-(1)-ア			○			○	83.6%	
14		2		小5	図形	C-(1)-ウ			○		○		50.1%	
15	6	1		小5	図形	C-(1)-イ			○			○	46.6%	
16	7	1		小4	図形	C-(1)-イ			○			○	78.0%	
17		2		小4	図形	C-(1)-イ			○			○	84.5%	
18		3		小4	図形	C-(1)-イ			○			○	62.4%	
19	8	1		小4	量と測定	B-(1)-イ		○				○	74.1%	
20		2		小5	量と測定	B-(1)-ア		○			○		50.7%	
21		3		小5	量と測定	B-(1)-ア		○				○	52.4%	
22		4		小5	量と測定	B-(1)-ア		○				○	33.6%	
23	9	1		小4	図形	C-(1)-イ			○			○	80.3%	
24	10	1		小3	数と計算	A-(2)-イ	○				○		44.4%	
25	11	1		小4	数量関係	D-(1)-ア				○		○	86.4%	
26		2		小4	数量関係	D-(1)-ア				○		○	82.8%	
27	12	1		小3	数量関係	D-(3)-ア				○		○	40.7%	
28		2		小3	数量関係	D-(3)-ア				○		○	63.4%	
29		3		小5	量と測定	B-(4)-ア		○				○	15.1%	
30	13	1		小5	数と計算	A-(3)-イ	○				○		47.3%	
31		2		小4	数と計算	A-(5)-イ	○				○		67.7%	
32		3		小5	数と計算	A-(3)-イ	○				○		48.7%	
33	14	1		小4	数量関係	D-(1)-ア				○	○		37.1%	
計					問題数	14	5	7	7	7	20	6	62.7%	
					出題割合	42.4%	15.2%	21.2%	21.2%	21.2%	60.6%	18.2%		

(3)-2 数学(中学校第1学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		内容・ 領域	出題項目	数と式	図形	関数	資料の 活用	数学的な 見方や考 え方	表現・ 処理	知識・ 理解	
1	1	1	(1)	中1	数と式	A-(1)-ウ	○					○		74.9%
2			(2)	中1	数と式	A-(1)-ウ	○					○		73.6%
3			(3)	中1	数と式	A-(1)-ウ	○					○		64.8%
4			(4)	中1	数と式	A-(1)-ウ	○					○		71.9%
5			(5)	中1	数と式	A-(2)-ウ	○					○		67.6%
6			(6)	中1	数と式	A-(2)-イ	○					○		63.1%
7			(7)	中1	数と式	A-(2)-イ	○					○		43.5%
8			(8)	中1	数と式	A-(2)-イ・ウ	○					○		63.5%
9		2		中1	数と式	A-(1)-ア	○						○	54.9%
10		3	(1)	中1	数と式	A-(1)-エ	○					○		81.5%
11			(2)	中1	数と式	A-(1)-エ	○				○			57.2%
12	2	1		中1	数と式	A-(2)-イ	○					○	88.3%	
13		2		中1	数と式	A-(2)	○				○		60.2%	
14		3	(1)	中1	数と式	A-(2)	○				○		69.4%	
15			(2)	中1	数と式	A-(2)-エ	○				○			10.9%
16	3	1	(1)	中1	数と式	A-(3)-イ	○					○	74.5%	
17			(2)	中1	数と式	A-(3)-イ	○					○	85.6%	
18			(3)	中1	数と式	A-(3)-イ	○				○			43.8%
19		2		中1	数と式	A-(3)-ウ	○					○	51.7%	
20		3		中1	数と式	A-(2)-エ	○				○		55.3%	
21	4	1		中1	図形	B-(1)		○			○		69.8%	
22		2		中1	図形	B-(1)		○			○		66.9%	
23		3	(1)	中1	図形	B-(1)		○				○		27.9%
24			(2)	中1	図形	B-(1)		○				○		77.6%
25			(3)	中1	図形	B-(1)		○				○		85.5%
26		4		中1	図形	B-(1)-ア		○				○		80.6%
27	5	1		小6	図形	C-(2)-イ		○				○	94.7%	
28		2		小6	図形	C-(2)-イ		○				○	76.8%	
29		3		小6	図形	C-(2)-イ		○				○	33.2%	
30	6	1		小6	関数	D-(2)-ア			○		○		94.8%	
31		2		小6	関数	D-(2)-ア			○		○		72.2%	
32		3		小6	関数	D-(2)-ア			○		○		77.3%	
33	7	1		小4	資料の活用	D-(4)-ア				○	○		71.8%	
34		2		小4	資料の活用	D-(4)-ア				○	○		81.8%	
35	8	1		小5	関数	D-(3)			○		○		47.5%	
36		2		小5	関数	D-(3)			○		○		21.6%	
計					問題数	20	9	5	2	5	20	11	64.9%	
					出題割合	55.5%	25.0%	13.9%	5.6%	13.9%	55.5%	30.6%		

(3)-3 数学(中学校第2学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)	
	大問	中間	小問		内容・ 領域	出題項目	数と式	図形	関数	資料の 活用	数学的な 見方や考 え方	表現・ 処理	知識・理 解		
1	1	1	(1)	中1	数と式	A-(1)-ウ	○					○		85.2%	
2			(2)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		76.8%
3			(3)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		82.5%
4			(4)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		70.4%
5			(5)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		63.2%
6			(6)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		75.1%
7			(7)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		79.1%
8			(8)	中2	数と式	A-(1)-ア	○						○		61.9%
9		2		中2	数と式	A-(1)	○						○	56.8%	
10		3		中2	数と式	A-(1)	○					○		77.5%	
11		4		中2	数と式	A-(1)-ウ	○					○		54.5%	
12	2	1	(1)	中1	関数	C-(1)-オ			○		○		69.5%		
13			(2)	中1	関数	C-(1)-オ			○		○			46.2%	
14		2	(1)	中1	関数	C-(1)-エ			○			○	58.5%		
15			(2)	中1	関数	C-(1)-エ			○			○	54.5%		
16		3		中1	関数	C-(1)-エ			○			○	61.1%		
17		4		中1	関数	C-(1)-エ			○			○	58.9%		
18	3	1	中2	数と式	A-(1)-イ	○					○		72.9%		
19		2	中2	数と式	A-(1)-イ	○					○		38.4%		
20	4		中2	数と式	A-(2)-ウ	○					○		68.6%		
21	5	ア	中2	数と式	A-(2)-ウ	○					○		68.4%		
22		イ	中2	数と式	A-(2)-ウ	○					○		67.0%		
23	6		中1	図形	B-(1)-ア		○					○	76.7%		
24	7	1	中2	図形	B-(1)-ア		○					○	81.4%		
25		2	中2	図形	B-(1)-ア		○					○	41.2%		
26		3	中2	図形	B-(1)-ア		○					○	63.0%		
27	8	1	中2	図形	B-(1)		○				○		72.8%		
28		2	中2	図形	B-(1)		○				○		73.6%		
29	9		中2	図形	B-(2)-ア		○				○		58.7%		
30	10		中2	図形	B-(1)-イ		○				○		72.4%		
31	11		中1	図形	B-(2)-イ		○				○		87.9%		
32	12		中1	図形	B-(2)-ウ		○				○		17.0%		
33	13		中1	資料の活用	D-(1)				○		○		48.5%		
34	14		中1	関数	C-(1)			○			○		45.2%		
計					問題数	16	10	7	1	11	18	5	64.3%		
					出題割合	47.1%	29.4%	20.6%	2.9%	32.4%	52.9%	14.7%			

(4)-1 理科(小学校第5学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別		観 点 別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		領域	出題項目	A 物質・ エネルギー	B 生命・ 地球	科学的な思 考力	観察、実験 の技能・表 現	知識・ 理解	
1	1		1	小5	B	(1)-イ		○	○			74.7%
2	2		1	小5	B	(1)-ア		○			○	79.5%
3	3		1	小5	B	(1)-ウ		○	○			80.9%
4			2	小5	B	(1)-ウ		○	○			53.8%
5	4		1	小5	B	(1)-エ		○			○	79.3%
6			2	小5	B	(1)-エ		○			○	81.5%
7			3	小5	B	(1)-エ		○		○		90.8%
8			4	小5	B	(1)-エ		○			○	86.7%
9	5		1	小5	B	(2)-ア		○			○	97.8%
10	6		1	小5	B	(2)-ウ		○			○	87.2%
11	7		1	小4	A	(2)-ウ	○				○	30.3%
12			2	小4	A	(2)-ウ	○				○	27.9%
13			3	小4	A	(2)-ウ	○		○			57.1%
14	8		1	小4	A	(1)-イ	○				○	62.4%
15			2	小4	A	(1)-ア	○				○	65.6%
16			3	小4	A	(1)-ア	○				○	83.6%
17			4	小4	A	(1)-ア	○		○			84.6%
18	9		1	小5	A	(2)-ア	○		○			75.0%
19			2	小5	A	(2)-ア	○			○		60.6%
20			3	小5	A	(2)-ア	○			○		40.7%
21			4	小5	A	(2)-ア	○				○	82.2%
22	10		1	小5	B	(4)-ア		○		○		92.8%
23			2	小5	B	(4)-イ		○		○		56.9%
24			3	小5	B	(4)-イ		○		○		50.2%
25	11		1	小5	B	(4)-イ		○		○		85.5%
26	12		1	小5	B	(3)-イ		○			○	86.9%
27			2	小5	B	(3)-ア		○			○	79.2%
28			3	小5	B	(3)-ア		○	○			72.1%
29	13		1	小4	B	(4)-ア		○		○		62.9%
30			2	小4	B	(4)-ア		○			○	48.8%
計						問 題 数	11	19	7	8	15	70.6%
						出題割合	36.7%	63.3%	23.3%	26.7%	50.0%	

(4)-2 理科(中学校第1学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)	
	大問	中間	小問		領域	出題項目	物理	化学	生物	地学	科学的な 思考力	観察, 実 験の技 能・表現	知識・ 理解		
1	1	1	1	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○		○			81.9%	
2			2	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○				○	81.2%	
3		2	1	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○				○	78.0%	
4			2	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○				○	65.0%	
5			3	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○		○			44.2%	
6	2		1	中1	生物	(1)-ウ-(イ)			○				○	60.8%	
7			2	中1	生物	(1)-ウ-(ア)			○		○			71.9%	
8			3	中1	生物	(1)-ア-(ア)			○			○		59.9%	
9			4	中1	生物	(1)-イ-(イ)			○				○	53.3%	
10	3		1	中1	物理	(1)-ア-(ア)	○					○		68.4%	
11			2	中1	物理	(1)-ア-(ア)	○					○		52.5%	
12			3	1	中1	物理	(1)-ア-(イ)	○					○		55.0%
13				2	中1	物理	(1)-ア-(イ)	○						○	63.3%
14	4		1	中1	物理	(1)-ア-(ウ)	○						○	61.1%	
15			2	中1	物理	(1)-ア-(ウ)	○						○	58.5%	
16	5		1	中1	物理	(1)-イ-(ア)	○				○			82.5%	
17			2	中1	物理	(1)-イ-(イ)	○					○		77.7%	
18			3	中1	物理	(1)-イ-(ア)	○						○	71.5%	
19			4	中1	物理	(1)-イ-(イ)	○						○	69.0%	
20	6	1	1	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○				○		96.0%	
21			2	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○				○		57.7%	
22		2	1	中1	化学	(2)-イ-(ア)		○					○	62.2%	
23			2	中1	化学	(2)-イ-(ア)		○					○	57.5%	
24	7		1	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○			○			75.1%	
25			2	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○				○		42.5%	
26			3①	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○				○		65.8%	
27			3②	中1	化学	(2)-ア-(ア)		○				○		61.4%	
28	8		1	小5	地学	B-(3)-ア				○	○			66.7%	
29			2	小5	地学	B-(3)-ア				○	○			63.1%	
30			3	小5	地学	B-(3)-イ				○			○	62.8%	
計						問題数	10	8	9	3	12	5	13	65.7%	
						出題割合	33.3%	26.7%	30.0%	10.0%	40.0%	16.7%	43.3%		

(4)-3 理科(中学校第2学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観 点 別			平均 通過率 (%)
	大問	中間	小問		領域	出題項目	物理	化学	生物	地学	科学的な 思考力	観察、実 験の技 能・表現	知識・ 理解	
1	1		1	中2	生物	(3)-ウ-(ア)			○		○			49.6%
2			2	中2	生物	(3)-ウ-(イ)			○				○	83.9%
3			3	中2	生物	(3)-エ-(ア)			○				○	57.4%
4	2		1	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○		○			27.8%
5			2	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○				○	37.1%
6			3	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○				○	64.0%
7	3		1	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○			○		79.7%
8			2	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○		○			55.5%
9			3	中2	生物	(3)-イ-(ア)			○		○			66.3%
10	4		1	中1	地学	(2)-イ-(ア)				○			○	85.6%
11			2	中1	地学	(2)-ア-(ア)				○			○	56.4%
12			3	中1	地学	(2)-イ-(ア)				○			○	43.7%
13			4①	中1	地学	(2)-イ-(ア)				○			○	68.1%
14			4②	中1	地学	(2)-イ-(ア)				○			○	70.9%
15	5		1	中1	地学	(2)-ア-(イ)				○			○	51.5%
16			2	中1	地学	(2)-ア-(イ)				○	○			72.0%
17			3	中1	地学	(2)-ア-(イ)				○	○			38.2%
18			4	中1	地学	(2)-ア-(イ)				○	○			67.8%
19	6		1	中2	化学	(4)-ア-(ア)		○				○		61.0%
20			2	中2	化学	(4)-ア-(ア)		○					○	78.6%
21			3	中2	化学	(4)-ア-(ア)		○					○	78.5%
22	7		1	中1	化学	(2)-ウ-(ア)		○				○		80.4%
23			2	中1	化学	(2)-ウ-(ア)		○				○		59.7%
24			3	中1	化学	(2)-ウ-(イ)		○			○			54.1%
25			4	中1	化学	(2)-ウ-(イ)		○			○			29.1%
26	8		1	中2	物理	(3)-ア-(ア)	○					○		76.7%
27			2	中2	物理	(3)-ア-(ア)	○				○			76.7%
28			3	中2	物理	(3)-ア-(ア)	○				○			45.7%
29			4	中2	物理	(3)-ア-(イ)	○				○			24.8%
30	9		1	中2	物理	(3)-イ-(ウ)	○				○			53.0%
31			2	中2	物理	(3)-イ-(ウ)	○						○	66.7%
32			3	中2	物理	(3)-イ-(ウ)	○					○		52.3%
計					問 題 数		7	7	9	9	13	8	11	59.8%
					出題割合		21.9%	21.9%	28.1%	28.1%	40.6%	25.0%	34.4%	

(5)-1 英語(中学校第1学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)
	大問	中問	小問		内容・ 領域	出題項目	聞くこ と	話すこ と	読むこ と	書くこ と	表現	理解	言語や文化 に関する知 識・理解	
1	1		1	中1	聞くこと (話すこと)	アー(ア)(ウ) イー(ウ)	○	○			○	○		70.6%
2			2	中1	聞くこと (話すこと)	アー(ア)(ウ) イー(ウ)	○	○			○	○		76.9%
3			3	中1	聞くこと (話すこと)	アー(ア)(ウ) イー(ウ)	○	○			○	○		70.6%
4			4	中1	聞くこと (話すこと)	アー(ア)(ウ) イー(ウ)	○	○			○	○		83.8%
5			5	中1	聞くこと (話すこと)	アー(ア)(ウ) イー(ウ)	○	○			○	○		71.3%
6	2		1	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		90.3%
7			2	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		91.3%
8			3	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		91.9%
9	3		1	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		95.9%
10			2	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		84.7%
11			3	中1	聞くこと	アー(ア)(イ)	○					○		97.4%
12	4		1	中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		89.7%
13			2	中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		72.5%
14			3	中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		75.1%
15	5	1	中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		81.0%	
16		2	1	中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		87.8%
17	2		中1	読むこと	ウー(ウ)			○			○		70.1%	
18	6		1	中1	読むこと	ウー(エ)			○			○	○	68.5%
19			2	中1	読むこと	ウー(エ)			○			○	○	75.5%
20	7		1	中1	読むこと	ウー(エ)			○			○	○	59.2%
21			2	中1	読むこと	ウー(エ)			○			○	○	80.3%
22			3	中1	読むこと	ウー(エ)			○			○	○	44.4%
23	8		1	中1	書くこと	エー(ア)				○	○		○	73.5%
24			2	中1	書くこと	エー(ア)				○	○		○	43.3%
25			3	中1	書くこと	エー(ア)				○	○		○	74.7%
26			4	中1	書くこと	エー(ア)				○	○		○	68.3%
27			5	中1	書くこと	エー(ア)				○	○		○	45.9%
28	9		1	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(エ) イー(イ)		○		○	○		○	60.2%
29			2	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(エ) イー(イ)		○		○	○		○	52.4%
30			3	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(エ) イー(イ)		○		○	○		○	41.6%
31	10	1	伝達	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	87.0%
32			正確	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	82.3%
33		2	伝達	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	85.0%
34			正確	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	77.5%
35		3	伝達	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	75.2%
36			正確	中1	書くこと (話すこと)	エー(ア)(ウ) イー(イ)		○		○	○		○	64.1%
計					問題数	11	14	11	14	19	22	19	73.9%	
					出題割合	22.0%	28.0%	22.0%	28.0%	31.7%	36.6%	31.7%		

(5)-2 英語(中学校第2学年)

	設問			出題学年	学習指導要領		内容領域別				観点別			平均 通過率 (%)
	大問	小問	観点		内容・ 領域	出題項目	聞くこ と	話すこ と	読むこ と	書くこ と	表現	理解	言語や文化 に関する知識・理解	
1	1	1		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		77.2%
2		2		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		74.0%
3		3		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		64.8%
4		4		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		47.8%
5	2	1		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		85.0%
6		2		中1	聞くこと (話すこと)	ア- (ア) (ウ) イ- (ウ)	○	○			○	○		71.8%
7	3	1		中1	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		77.2%
8		2		中1	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		83.2%
9		3		中2	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		94.3%
10	4	1		中2	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		75.0%
11		2		中2	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		97.6%
12		3		中2	聞くこと	ア- (ア) (イ)	○					○		69.0%
13	5	1		中1	読むこと	ウ- (ウ)			○			○		88.7%
14		2		中2	読むこと	ウ- (ウ)			○			○		74.3%
15	6	1		中2	読むこと	ウ- (ウ)			○			○		84.4%
16		2		中2	読むこと	ウ- (ウ)			○			○		64.4%
17		3		中2	読むこと	ウ- (ウ)			○			○		87.8%
18	7	1		中1	読むこと	ウ- (エ)			○			○	○	83.5%
19		2		中2	読むこと	ウ- (エ)			○			○	○	73.0%
20		3		中2	読むこと	ウ- (エ)			○			○	○	61.3%
21	8	1		中1	読むこと	ウ- (エ)			○			○	○	70.2%
22		2		中2	読むこと	ウ- (エ)			○			○	○	71.3%
23	9	1		中2	書くこと	エ- (ア)				○	○		○	71.5%
24		2		中2	書くこと	エ- (ア)				○	○		○	65.8%
25		3		中2	書くこと	エ- (ア)				○	○		○	44.5%
26		4		中2	書くこと	エ- (ア)				○	○		○	63.2%
27		5		中1	書くこと	エ- (ア)				○	○		○	61.0%
28	10	1		中2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (イ) イ- (イ)		○		○	○		○	60.9%
29		2		中1	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (イ) イ- (イ)		○		○	○		○	63.5%
30		3		中2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (イ) イ- (イ)		○		○	○		○	45.2%
31	11	1	伝達	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	61.4%
32			正確	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	55.5%
33		2	伝達	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	43.1%
34			正確	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	33.4%
35		3	伝達	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	30.3%
36			正確	中1・2	書くこと (話すこと)	エ- (ア) (ウ) イ- (イ)		○		○	○		○	21.2%
計					問題数	12	15	10	14	20	22	19	66.6%	
					出題割合	23.5%	29.4%	19.6%	27.5%	32.8%	36.1%	31.1%		

4 各受検者の正答数の分布

(1) 国語

ア

小学校第5学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問	33問
度数	0	1	0	3	16	26	35	51	82	105	134	144	209	255	351	415	461	530	661	772	901	944	1081	1134	1158	1091	981	855	696	469	264	73	
パーセント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%	0.7%	0.9%	1.0%	1.4%	1.7%	2.3%	2.7%	3.0%	3.8%	4.5%	5.1%	6.0%	6.2%	7.1%	7.5%	7.6%	7.7%	7.2%	6.5%	5.7%	4.6%	3.1%	1.7%	0.5%

イ

中学校第1学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問
度数	9	14	10	6	26	30	54	73	100	91	155	172	231	293	357	448	498	541	639	744	796	889	1086	1190	1271	1259	1219	1103	834	512	174
パーセント	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.7%	0.6%	1.0%	1.2%	1.5%	2.0%	2.4%	3.0%	3.3%	3.6%	4.3%	5.0%	5.3%	6.6%	7.3%	8.0%	8.5%	8.2%	7.4%	5.6%	3.4%	1.2%	

ウ

中学校第2学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問
度数	10	9	17	17	40	51	83	97	123	189	213	270	337	377	467	562	653	789	845	948	1012	1104	1136	1102	1038	929	854	704	502	291	194	75
パーセント	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%	0.6%	0.6%	0.8%	1.3%	1.4%	1.8%	2.2%	2.5%	3.1%	3.7%	4.3%	5.2%	5.6%	6.3%	6.7%	7.3%	7.6%	7.3%	6.9%	6.2%	5.7%	4.7%	3.3%	1.9%	1.3%	0.5%

(2) 社会

ア

小学校第5学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問
度数	1	9	28	32	38	65	90	136	170	183	219	259	315	364	463	517	530	631	742	768	890	908	1006	1069	1100	1106	1123	1053	814	385
パーセント	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%	0.6%	0.9%	1.1%	1.2%	1.5%	1.7%	2.1%	2.4%	3.1%	3.4%	3.5%	4.2%	4.9%	5.1%	5.9%	6.0%	6.7%	7.1%	7.3%	7.4%	7.5%	7.0%	5.4%	2.6%

イ

中学校第1学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問
度数	6	10	17	49	70	109	134	222	257	327	402	496	560	689	800	831	894	981	998	1036	1048	968	916	813	702	544	454	288	173	78
パーセント	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.5%	0.7%	0.9%	1.5%	1.7%	2.2%	2.7%	3.3%	3.8%	4.6%	5.4%	5.6%	6.0%	6.6%	6.7%	7.0%	7.0%	6.5%	6.2%	5.5%	4.7%	3.7%	3.1%	1.9%	1.2%	0.5%

ウ

中学校第2学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問
度数	7	3	4	13	15	45	61	120	160	229	254	374	464	547	586	690	739	829	898	971	1006	971	1008	1004	945	842	808	652	489	267
パーセント	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.1%	1.5%	1.7%	2.5%	3.1%	3.6%	3.9%	4.6%	4.9%	5.5%	6.0%	6.5%	6.7%	6.5%	6.7%	6.7%	6.3%	5.6%	5.4%	4.3%	3.3%	1.8%

(3) 算数・数学

ア

小学校第5学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問	33問
度数	26	36	80	102	121	163	174	199	247	276	356	328	399	477	505	557	592	662	680	738	716	789	860	841	827	803	795	731	662	547	408	274	92
パーセント	0.0%	0.2%	0.5%	0.7%	0.8%	1.1%	1.2%	1.3%	1.6%	1.8%	2.4%	2.2%	2.6%	3.2%	3.4%	3.7%	3.9%	4.4%	4.5%	4.9%	5.2%	5.7%	5.6%	5.5%	5.3%	4.9%	4.4%	3.6%	2.7%	1.8%	0.8%		

イ

中学校第1学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問	33問	34問	35問	36問
度数	63	76	67	107	116	139	157	172	188	236	224	257	240	303	347	336	416	396	445	552	586	662	695	740	786	841	855	808	812	767	695	563	413	253	109	
パーセント	0.4%	0.5%	0.5%	0.7%	0.8%	0.9%	1.1%	1.2%	1.3%	1.6%	1.5%	1.7%	1.6%	2.0%	2.3%	2.8%	2.7%	3.0%	3.7%	3.9%	4.5%	5.0%	5.3%	5.7%	5.8%	5.4%	5.5%	5.2%	4.7%	3.8%	2.8%	2.1%	1.7%	0.7%		

ウ

中学校第2学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問	33問	34問	35問	36問
度数	67	125	185	181	204	227	247	249	237	254	276	300	313	330	342	386	389	445	489	499	565	571	590	609	657	684	683	722	741	781	844	734	628	390		
パーセント	0.4%	0.8%	1.2%	1.2%	1.4%	1.5%	1.7%	1.7%	1.6%	1.7%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%	2.3%	2.6%	2.6%	3.0%	3.3%	3.8%	3.8%	3.9%	4.1%	4.4%	4.6%	4.6%	4.8%	4.8%	5.0%	5.2%	5.6%	4.9%	4.2%	2.6%		

(4) 理科

ア

小学校第5学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問
度数	0	3	7	7	18	20	50	86	133	157	227	271	350	413	514	580	657	777	849	913	1110	1127	1312	1291	1153	1105	905	579	348	150
パーセント	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.3%	0.6%	0.9%	1.0%	1.5%	1.8%	2.3%	2.7%	3.4%	3.8%	4.3%	5.1%	5.6%	6.0%	7.5%	8.7%	8.5%	7.6%	7.3%	6.0%	3.8%	2.3%	1.0%	

イ

中学校第1学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問
度数	15	23	36	54	114	135	191	231	282	371	397	491	549	681	680	748	826	874	823	943	898	900	885	859	822	664	561	433	327	148
パーセント	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	0.8%	0.9%	1.3%	1.5%	1.9%	2.5%	2.7%	3.3%	3.7%	4.6%	4.5%	5.0%	5.5%	5.8%	5.3%	6.0%	6.0%	5.9%	5.7%	5.5%	4.4%	3.7%	2.9%	2.2%	1.0%	

ウ

中学校第2学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問
度数	11	15	52	97	134	156	190	270	371	432	458	523	581	656	700	717	728	790	766	780	763	758	715	763	627	643	558	494	481	369	229	80
パーセント	0.1%	0.1%	0.3%	0.7%	0.9%	1.0%	1.3%	1.8%	2.5%	2.9%	3.1%	3.5%	3.9%	4.4%	4.7%	4.8%	4.9%	5.3%	5.1%	5.2%	5.1%	4.8%	5.1%	4.2%	4.3%	3.7%	3.3%	3.2%	2.5%	1.5%	0.5%	

(5) 英語

ア

中学校第1学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問	13問	14問	15問	16問	17問	18問	19問	20問	21問	22問	23問	24問	25問	26問	27問	28問	29問	30問	31問	32問	33問	34問	35問	36問
度数	5	12	19	24	32	72	90	117	127	149	160	178	179	192	204	226	249	269	303	340	371	419	455	525	574	646	697	807	939	961	1020	1025	1003	925	887	686
パーセント	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.5%	0.6%	0.8%	0.9%	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	1.4%	1.5%	1.7%	1.8%	2.0%	2.3%	2.5%	2.8%	3.1%	3.5%	3.9%	4.7%	5.4%	6.3%	6.5%	6.9%	6.7%	6.2%	6.0%	4.6%		

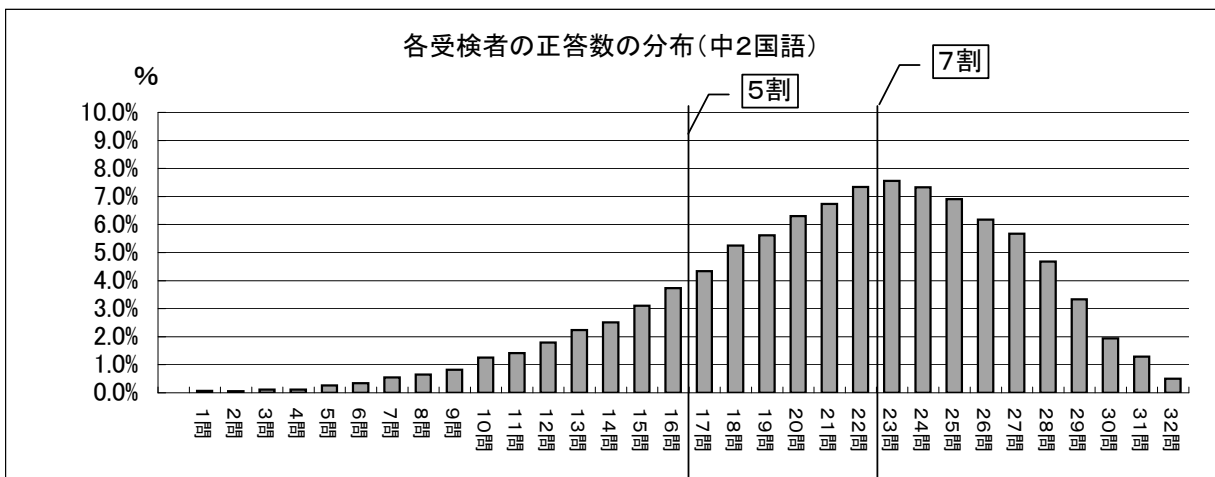
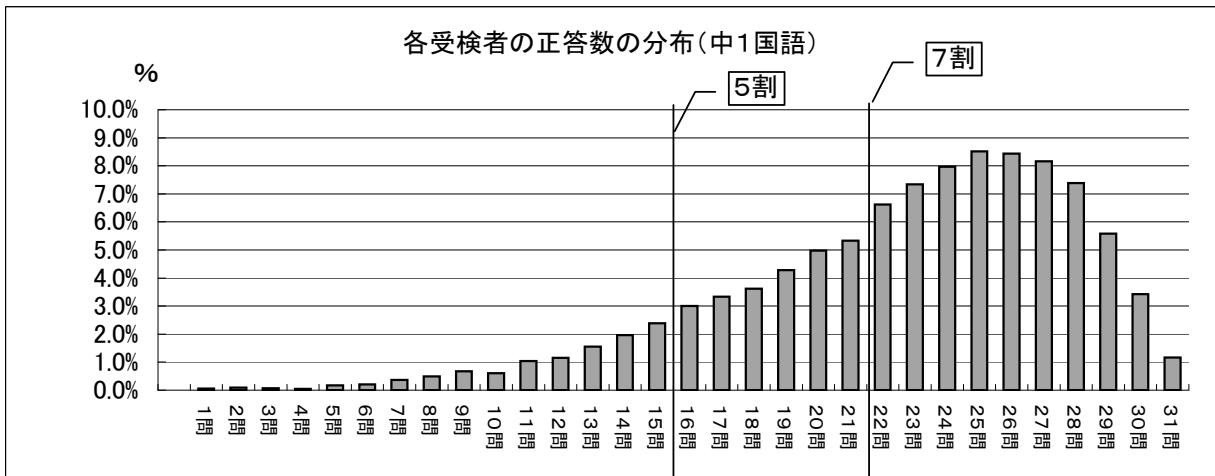
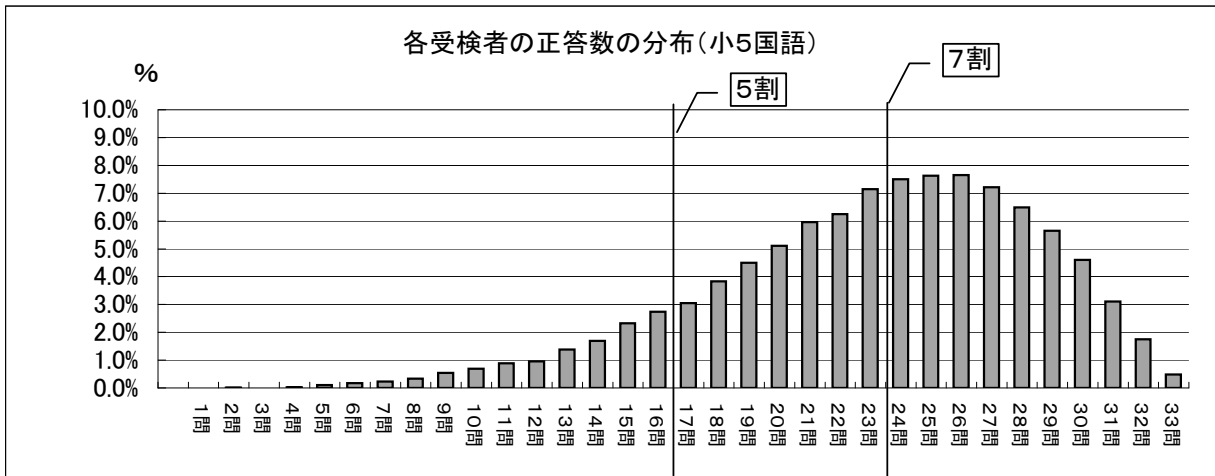
イ

中学校第2学年

正答間数	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----

〈各受検者の正答数の分布〉

(1) 国語

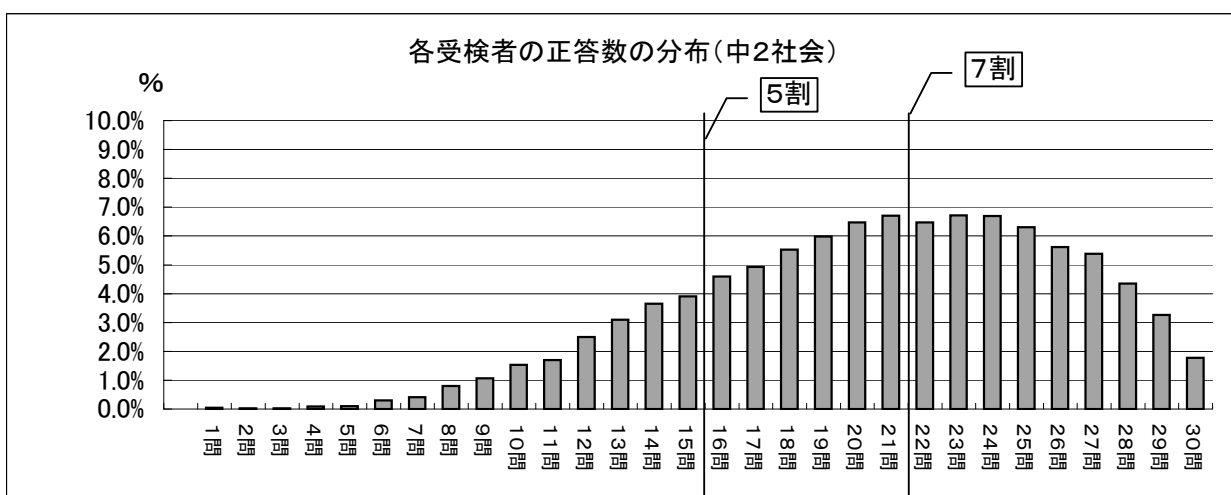
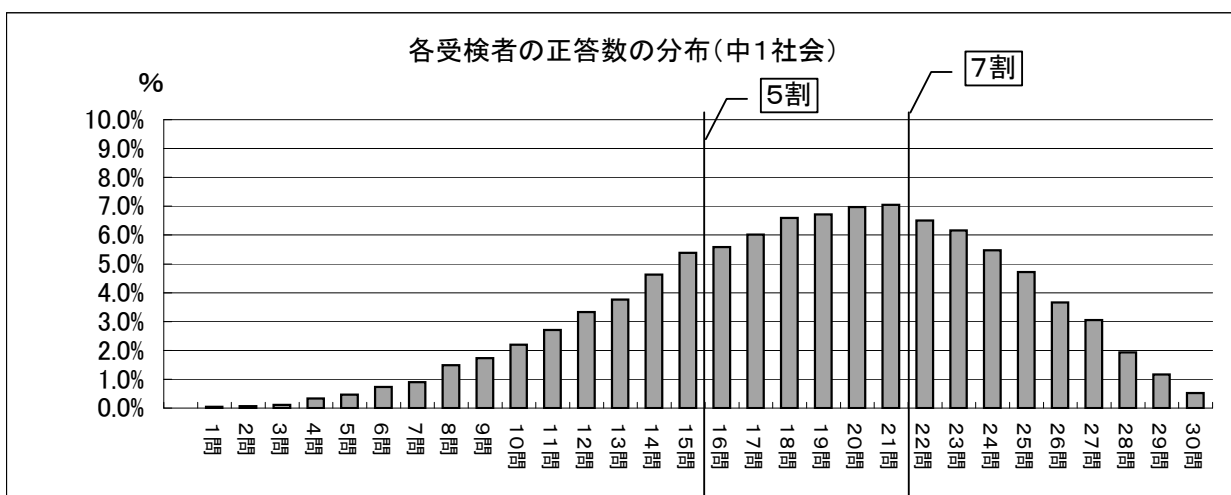
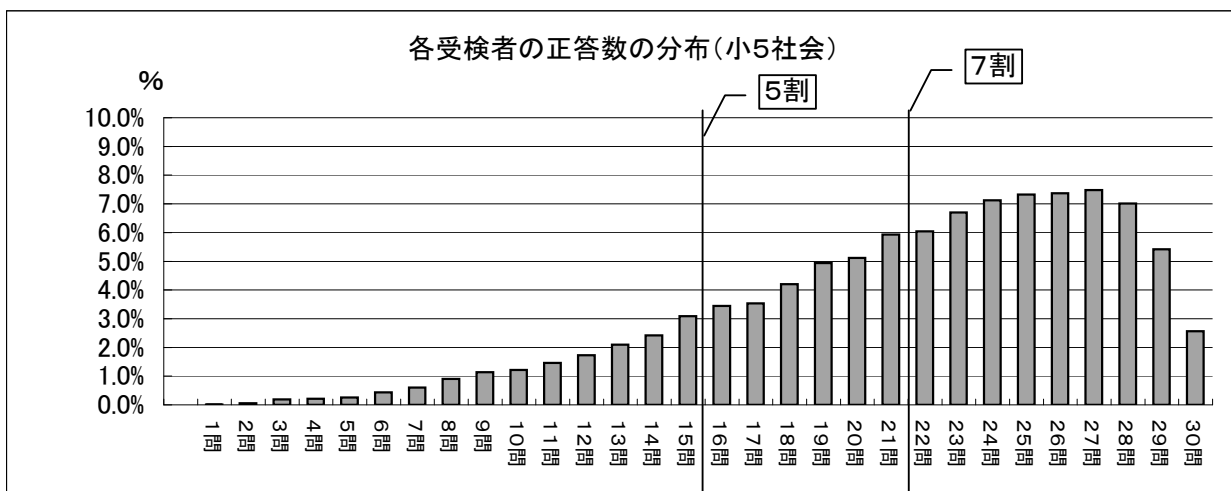


正答数別受検者の割合

正答数の割合	5割以下	5割～7割	7割超
小5	12.1%	35.8%	52.1%
中1	10.9%	24.5%	64.6%
中2	19.0%	35.6%	45.4%

小・中学校ともピークが7割ラインの右側にあり、小5・中1で5割以上の児童生徒が正答率7割を越えており望ましい状況である。小5・中1では、正答率5割以下の児童生徒が1割程度であるが、中2では正答率5割以下の生徒の割合が2割弱まで増えている。

(2) 社会

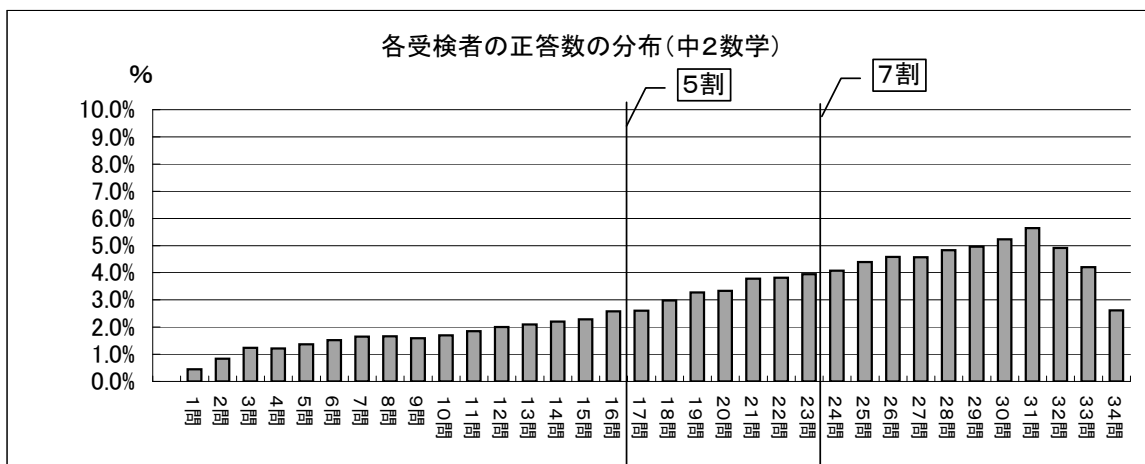
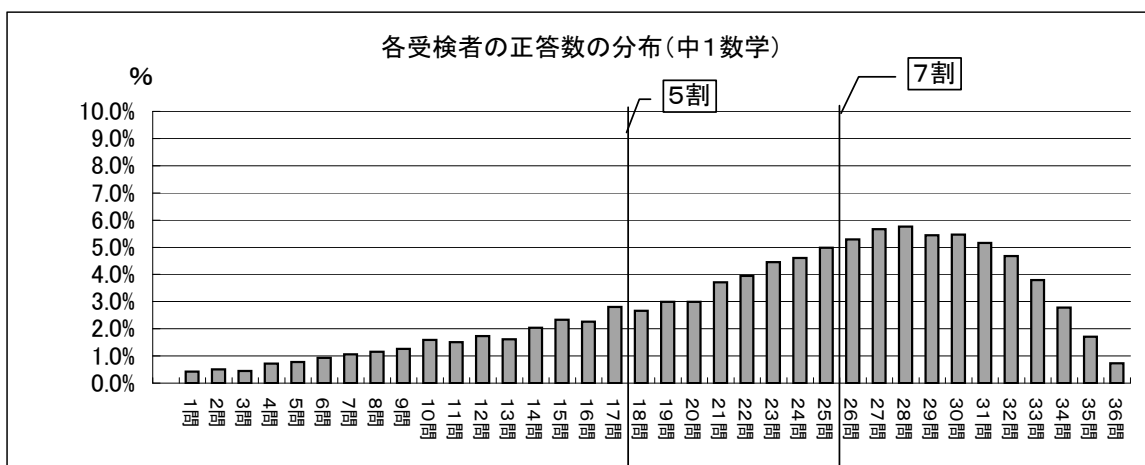
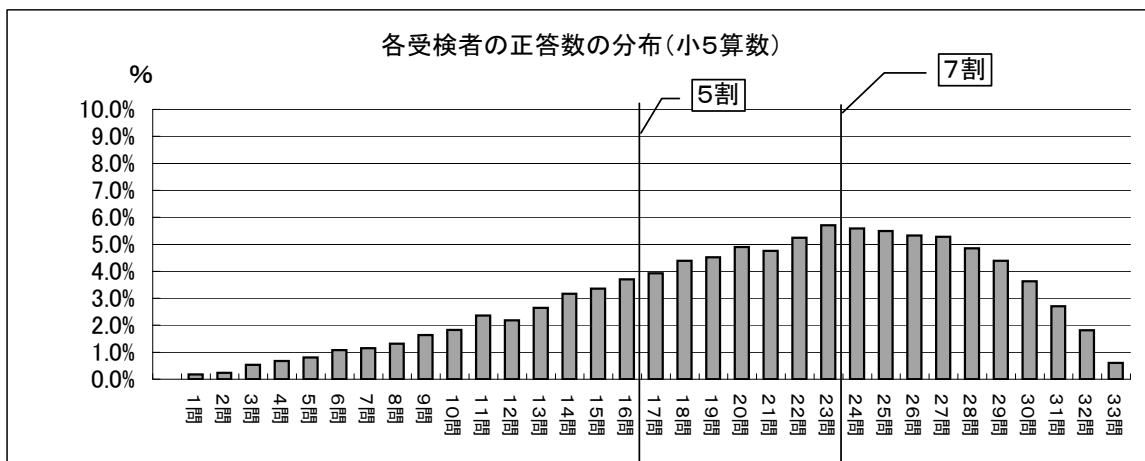


正答数別受検者の割合

正答数の割合	5割以下	5割～7割	7割超
小5	15.8%	27.2%	57.0%
中1	27.9%	38.9%	33.2%
中2	19.2%	34.2%	46.6%

本年度も小5は、ピークが7割ラインの右側にある。中学校はピークが7割付近にあるが、中1では、5割以下の生徒の割合が多い傾向にある。一方で、昨年度と比べ、中2の5割以下の生徒の割合は減ってきている。

(3) 算数・数学

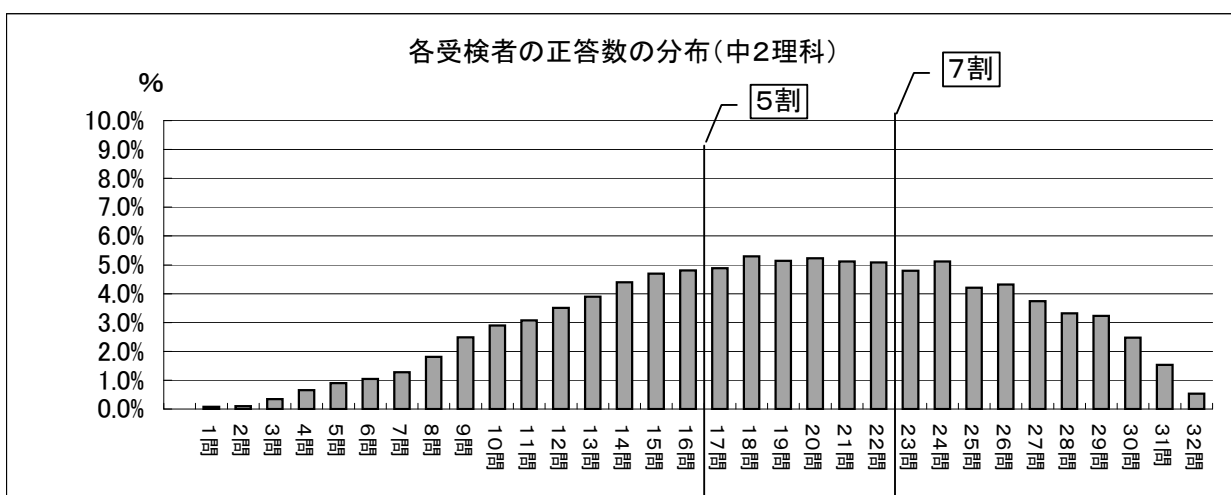
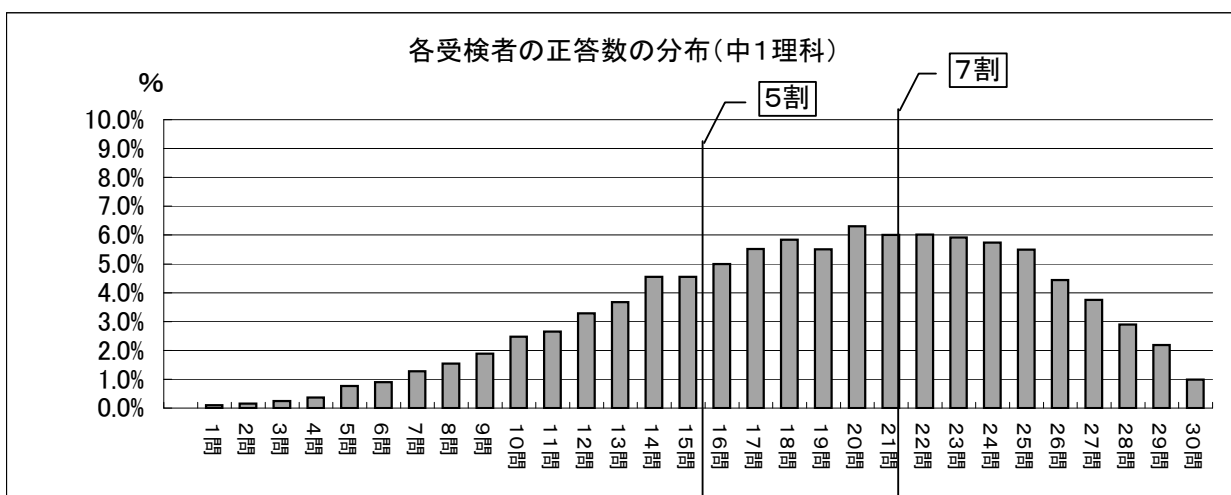
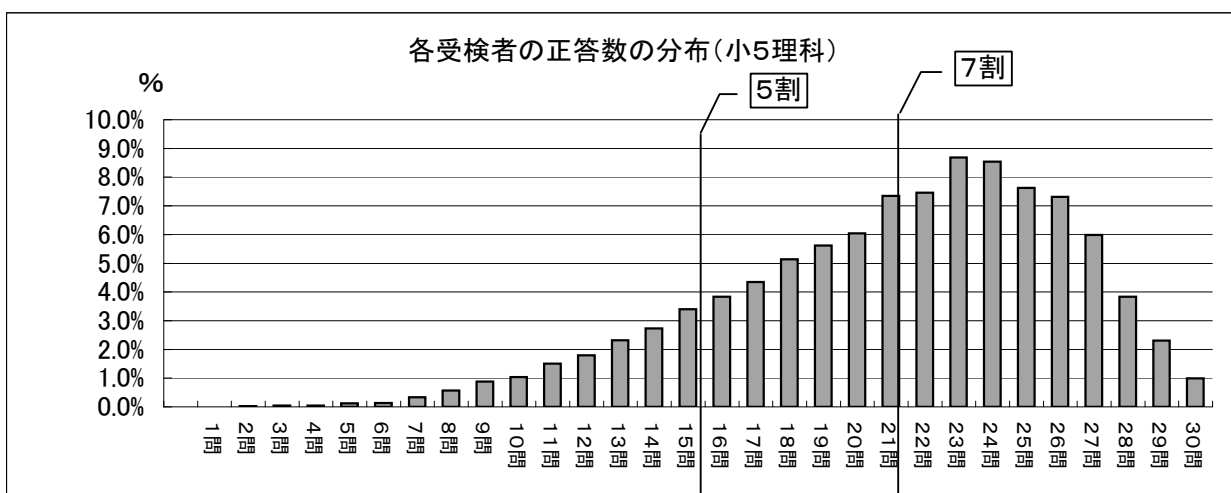


正答数別受検者の割合

正答数の割合	5割以下	5割～7割	7割超
小5	26.9%	33.4%	39.7%
中1	23.1%	30.3%	46.6%
中2	26.2%	23.8%	50.0%

中学校はピークが7割ラインの右側にあり、中学2年では、正答数7割以上の生徒が50%を超えている。昨年度と比べ、小学5年でやや分布が広がる傾向にある。また、中学2年では、全体的にばらつきがみられ、個人差が広がっている様子がうかがえる。

(4) 理科

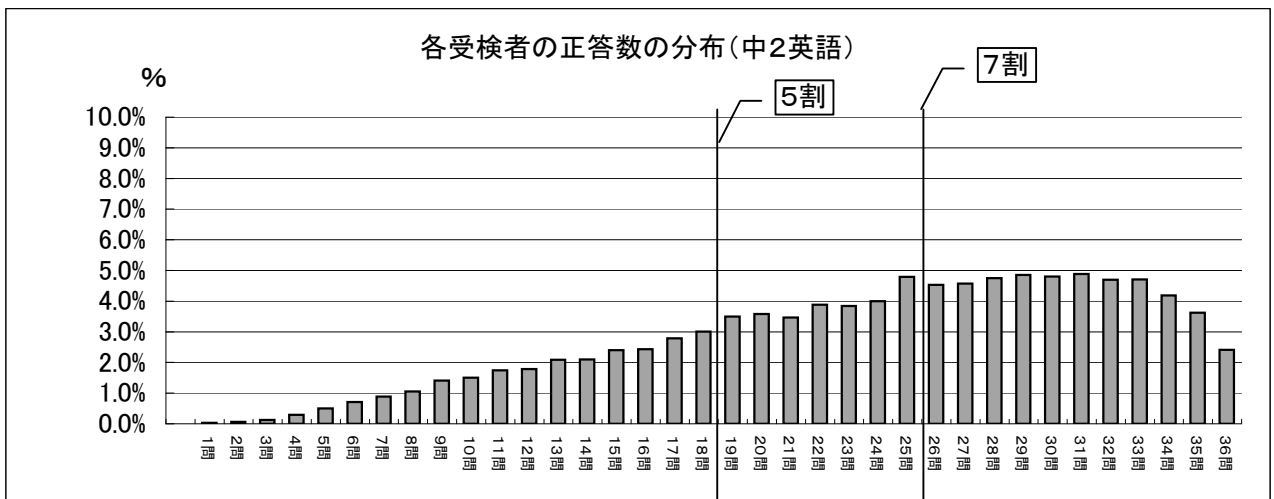
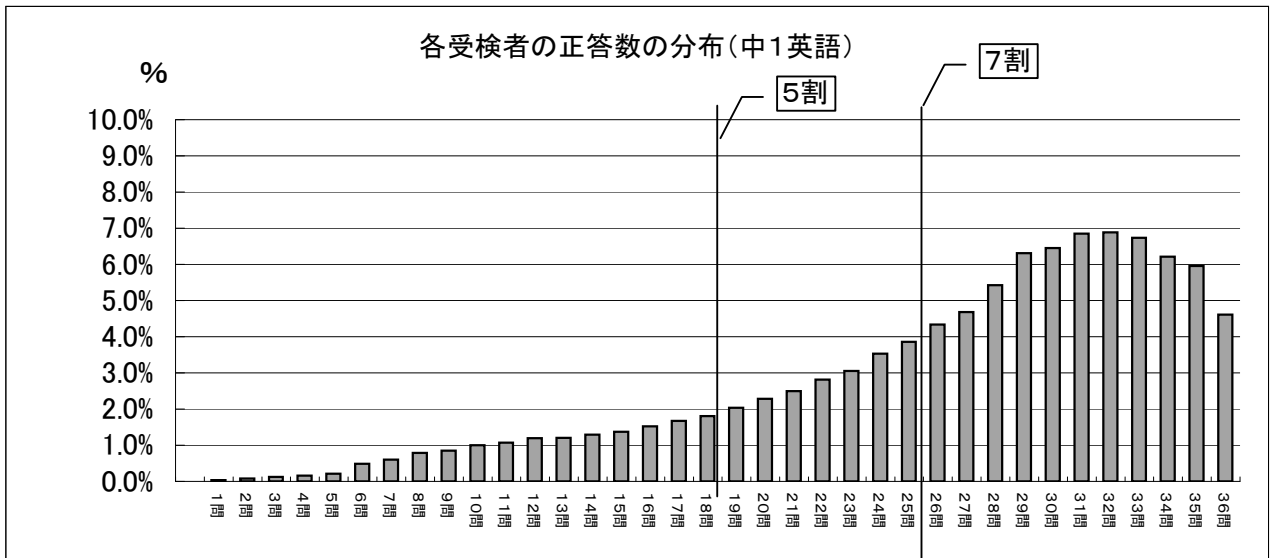


正答数別受検者の割合

正答数の割合	5割以下	5割～7割	7割超
小5	14.9%	32.3%	52.8%
中1	28.4%	34.2%	37.4%
中2	36.0%	30.7%	33.3%

小学校では、過半数が7割を超え、定着度は概ね良好である。中学1年もピークが7割付近にあるが、小学校に比べ5割以下の割合も増えている。中学2年では、5割以下の割合がさらに増し、個人差が広がっている様子が見える。

(5) 英語



正答数別受検者の割合

正答数の割合	5割以下	5割～7割	7割超
中1	15.5%	20.1%	64.5%
中2	24.9%	27.1%	48.0%

中学1年では、ピークが7割ラインを超え、昨年度に比べ改善が図られつつある。中学2年では、5割以下の生徒数が3割以上あるなどばらつきが大きく、個人差が著しい状況である。

5 地区別の平均通過率

(1) 小学校第5学年

	県全体	鹿市	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島
国語	70.0%	70.8%	70.8%	69.9%	71.2%	69.3%	68.1%	70.3%	69.0%
社会	72.1%	73.0%	73.2%	72.4%	73.1%	70.5%	71.2%	74.8%	69.7%
算数	62.7%	63.6%	64.4%	61.4%	62.9%	62.3%	60.5%	65.6%	62.6%
理科	70.6%	70.5%	71.5%	71.1%	71.1%	70.1%	70.2%	70.3%	70.8%

(2) 中学校第1学年

	県全体	鹿市	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島
国語	73.1%	75.8%	73.7%	73.2%	72.0%	72.2%	70.9%	70.4%	68.9%
社会	63.7%	66.0%	63.1%	62.7%	64.7%	63.3%	61.5%	61.7%	58.7%
数学	64.9%	67.1%	66.3%	66.3%	65.5%	63.2%	62.0%	63.2%	61.1%
理科	65.7%	68.5%	65.9%	66.3%	65.5%	63.2%	63.5%	63.5%	61.9%
英語	73.9%	77.2%	73.6%	72.8%	73.8%	73.8%	70.7%	71.4%	68.3%

(3) 中学校第2学年

	県全体	鹿市	鹿児島	南薩	北薩	姶良・伊佐	大隅	熊毛	大島
国語	67.8%	69.6%	70.4%	66.1%	67.2%	68.1%	66.6%	66.1%	64.0%
社会	69.6%	71.3%	70.4%	68.7%	70.0%	69.9%	68.0%	67.0%	65.8%
数学	64.3%	67.2%	65.4%	65.5%	65.2%	64.3%	61.0%	59.2%	56.7%
理科	59.8%	62.5%	62.4%	57.8%	60.3%	58.3%	58.0%	56.4%	54.7%
英語	66.6%	69.7%	66.7%	64.3%	66.7%	67.1%	63.8%	64.7%	60.1%

